

平成12年度事業報告書

平成12年4月1日から
平成13年3月31日まで

目 次

． 概 要	1
． 理 事 会	2
． 評 議 員 会	4
． 主 要 事 業 活 動	6
1 ． 産 業 技 術 人 材 育 成 事 業	8
1 経 営 管 理 者 研 修	
2 技 術 者 専 門 研 修	
3 理 工 系 大 学 院 生 (ウ イ ン タ - イ ン ス テ ィ テ ュ - ト)	
2 ． 韓 国 産 業 生 産 性 向 上 協 力 事 業	1 4
1 生 産 性 向 上 モ デ ル 企 業 育 成	
2 専 門 技 術 者 派 遣	
3 生 産 性 向 上 短 期 コ ン サ ル テ ィ ン グ	
3 ． 産 業 技 術 交 流 事 業	1 8
1 産 業 技 術 交 流 促 進 ミ ッ シ ョ ン 等	
2 中 堅 経 済 人 交 流 会 支 援	
3 官 民 若 手 交 流 事 業 支 援	
4 地 域 間 各 種 交 流 事 業 支 援	
5 日 韓 フ ェ ス テ ィ バ ル 事 業 支 援	
4 ． 調 査 広 報 事 業	2 3
1 産 業 国 際 競 争 力 向 上 セ ミ ナ -	
2 経 営 管 理 セ ミ ナ -	
3 各 種 委 託 調 査	
4 各 種 広 報 事 業	
． 日 韓 両 財 団 「 連 絡 協 議 会 」 及 び 「 連 絡 協 議 会 幹 事 会 」 の 開 催	2 5
． 財 団 日 誌	2 7

. 概 要

当財団が設立後、事業を開始して以来8年が経過した。これまで日本政府、及び関係経済団体のご協力と日本側企業の多大のご支援により、年毎に事業の成果が上がってきたと思われる。この8年間で当財団の研修・研究事業、セミナー等を受講した人数は約2,800名、また生産性向上協力事業等を実施した企業数は約220社になる。

財団活動に対しては、年を重ねる毎に、改めてその役割が認識され、今後の活動も期待されている。日韓両国政府や、関係者から良い評価を頂いて来たが、また事業に参加した韓国企業の社員や研修生からも、講師・専門家の助言や、研修内容が大変有益であったと感謝されている。

これまでも度々言われて来たことであるが、韓国経済を下支えとなるべきいわゆるサポーティング・インダストリーの成長が未だ十分でないために、資本財、部品等の供給の大半を日本や米国に依存せざるを得ない経済環境と産業構造は大きく変わっておらず、今後も中堅・中小企業への更なる育成・強化が必要とされている。

平成12年度は、基本財産の運用益の外に、政府からの拠出金5.5億円（外務省2.7億円、通商産業省2.8億円）を得て事業を実施した。

1. 当年度中、理事会4回、評議員会2回を開催し、財団運営の重要事項について審議、議決を行った。
2. 平成11年度第3回理事会で承認された平成12年度事業計画に従い下記事業を実施した。

1 産業技術人材育成事業	6 事業
2 韓国産業生産性向上協力事業	4 事業
3 産業技術交流事業	5 事業
4 調査広報事業	3 事業
3. 日韓両財団の共同事業

先進技術者企業研修、産業技術者中期専門研修、短期研修〔KITA〕、短期専門技術者派遣、生産性向上短期コンサルティング、産業技術交流促進ミッション受入れ、官民若手（オピニオンリーダー）交流、産業国際競争力向上セミナーの8事業を実施した。
4. 1 日韓両財団第7回連絡協議会を平成12年（2000年）6月1日東京にて開催した。

2 日韓両財団第8回連絡協議会幹事会を平成12年（2000年）11月1日東京にて開催した。

以上が、平成12年度の概要である。

． 理 事 会

今年度は4回の理事会を開催、いずれも藤村正哉理事長（三菱マテリアル株式会社社長）の議長のもとに議題を審議し、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく可決承認された。各理事会の概要は以下のとおりである。

1．平成12年度第1回理事会

平成12年6月15日（木） 午後3時00分～3時30分

経団連会館 11階（弥生）

出席者 29名（内訳． 理事本人 5名、書面表決 11名、表決委任 13名）

欠席者 2名

〔理事総数 31名〕

〔議 題〕

決議事項

第1号議案 平成11年度事業報告（案）承認の件

第2号議案 平成11年度収支決算報告（案）承認の件

第3号議案 任期満了等に伴う評議員選出承認の件

2．平成12年度第2回理事会

平成12年6月15日（木） 午後3時45分～4時00分

経団連会館 11階（弥生）

出席者 25名（内訳． 理事本人 7名、書面表決 9名、表決委任 9名）

欠席者 8名

〔理事総数 33名〕

〔議 題〕

決議事項

第1号議案 任期満了等に伴う理事・監事選任承認の件

3. 平成12年度第3回理事会

平成13年2月2日(金) 午後2時00分～4時00分

財団法人 日韓産業技術協力財団 会議室

出席者 28名 (内訳. 理事本人 4名、書面表決 24名)

欠席者 1名

[理事総数 29名]

[議題]

決議事項

第1号議案 日韓フェスティバル出展参加事業の件

4. 平成12年度第4回理事会

平成13年3月23日(金) 午後3時30分～4時00分

経団連会館 11階 (弥生)

出席者 27名 (内訳. 理事本人 5名、書面表決 13名、表決委任 9名)

欠席者 2名

[理事総数 29名]

[議題]

決議事項

第1号議案 平成13年度事業計画(案)承認の件

第2号議案 平成13年度収支予算(案)承認の件

第3号議案 平成12年度収支予算一部補正承認の件

第4号議案 評議員1名選出承認の件

報告事項

日韓フェスティバル出展参加事業終了報告の件

その他

以上

・ 評 議 員 会

今年度は2回の評議員会を開催、互選の結果、いずれも石原増男評議員が議長となって議題を審議し、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく承認された。各評議員会の概要は以下のとおりである。

1. 平成12年度第1回評議員会

平成12年6月15日(木) 午後3時30分～3時45分

経団連会館 11階 (弥生)

出席者 24名 (内訳. 評議員本人 4名、書面表決 8名、表決委任 12名)

欠席者 2名

〔評議員総数 26名〕

〔議 題〕

決議事項

第1号議案 任期満了等に伴う理事及び監事選任承認の件

〔報告事項〕

平成11年度事業報告

平成11年度収支決算報告

2. 平成12年度第2回評議員会

平成13年3月23日(金) 午後3時00分～3時30分

経団連会館 11階 (弥生)

出席者 29名 (内訳. 評議員本人 3名、書面表決 12名、表決委任 14名)

〔評議員総数 29名〕

〔報告事項〕

日韓フェスティバル出展参加事業終了報告の件
その他

審議事項

- 第1号議案 平成13年度事業計画(案)の審議
- 第2号議案 平成13年度収支予算(案)の審議
- 第3号議案 平成12年度収支予算一部補正承認の件

以上

． 主 要 事 業 活 動

平成 12 年 3 月 2 4 日の理事会及び評議員会で承認された事業計画に従い下記事業を実施した。(主な事業の詳細は 頁以下参照)

(共同): 韓日財団との共同事業

1 . 産 業 技 術 人 材 育 成 事 業

1 経営管理者研修

2 技術者専門研修

a . 先進技術者企業研修 (共同)

b . 品質管理・工業標準化研修

c . 産業技術者中期専門研修 (共同)

d . K I T A 専門研修 (共同)

3 理工系大学院生(ウインタ-インスティテュ-ト)

2 . 韓 国 産 業 生 産 性 向 上 協 力 事 業

1 生産性向上モデル企業育成

2 専門技術者派遣

a . 短期専門技術者派遣

b . K I T A 専門技術者派遣 (共同)

3 生産性向上短期コンサルティング (共同)

3 . 産 業 技 術 交 流 事 業

1 産業技術交流促進ミッション (共同)

2 中堅経済人交流会支援

3 官民若手交流事業支援 (共同)

4 地域間各種交流事業支援

5 日韓フェスティバル事業支援

4 . 調査広報事業

1 産業国際競争力向上セミナー -

2 経営管理セミナー - (共同)

3 各種委託調査

4 各種広報事業

a . 両国財団シンポジウム (共同)

b . 両国財団広報事業 (一部共同)

1. 産業技術人材育成事業

事業名	(1) 経営管理者研修
事業内容	韓国中堅・中小企業の中間管理職を日本に招聘し、専門家の講義及び関連の工場見学を行うことにより、中間管理職として必要な企業管理技術全般の研修を行う。
実 施 状 況	<p>1. 研修期間 第1回：2000年9月18日～30日(10名参加) 第2回：2000年11月20日～12月2日(10名参加)</p> <p>2. 研修内容 (1) 講義 「日本の中小企業の経営環境と対応」 「意識活性化のための基本と実戦」 「変革を求められる中堅・中小企業製造業」 「日本企業の環境管理(ISO14000)導入の現状と課題、期待効果」 (2) 工場見学 (株)湯川鉄工所 (株)いすゞセラミックス研究所 (株)東和製作所 (株)放電精密加工研究所 (株)吉岡精工 日生工業(株)</p> <p>3. 研修生派遣企業及び受入企業 <第1回> <主要製品> (1) (株)GAIN BLANK、水晶振動子 (2) 正一化学 不飽和ポリエステル (3) 友進工業(株) スパークプラグ、グロープラグ、O2センサー (4) 高山企業 ドアシル、フィルタ、インシュレーション (5) (株)NEO TELECOM CELLULAR&PCS、セキュリティシステム、DVR (6) 江南化成(株) フェノール樹脂、ポリウレタン樹脂 (7) (株)五洋空調機 モーター、船用内装品 (8) (株)MOBIL ELECTION 携帯電話、デジタルカメラ、自動車半導体部品、車両電装品 (9) 大成工業(株) デイゼルエンジンロックアップ、カラー用樹脂パッドライヤ、油圧部品 (10) PILKOR 電子 固定抵抗器、フィルムコンデンサ、チップインダクタ <第2回> <主要製品> (1) 韓盛電機工業(株) コンデンサ (2) 韓国松井(株) プラスチック成形関連機器 (3) (株)大蓮精工 ガス&水道用シムパイプ、ボールバルブ (4) (株)信星電子 紙幣計数機 (5) (株)培殷精密 コネクタ、モーター、A/Vジャック、EMIフィルタ、A/Cインレットソケット (6) 新星 NEO TECH(株) 通信機器&部品 (7) 大京重包装工業(株) オフセット印刷、ガラス印刷 (8) (株)INK TEC インカートリッジ、トナーカートリッジ、プリンタ用インク&用紙 (9) (株)南榮電球 各種電球 (10) CARBONE LORRAINE KOREA(株) フェライト磁石</p> <p>4. 成果等 (1) 研修生は、深刻な経済不況の中にあつて、独自の経営理念を持ち、生き生きと成長している日本の中小企業の強さを学んだ。 (2) 日本の文化・習慣を肌で感じ取り、又、多くの日本人と接し、日本に対する理解を深めた。</p>

1 . 産業技術人材育成事業

事業名	(2) 技術者専門研修 a . 先進技術者企業研修	(共同事業)		
事業内容	韓国企業の中堅技術者が、日本の企業において、技術又は経営上の課題をテーマにして、日本の企業と共同で技術研修を行う。			
実 施 状 況	<p>1 . 研修期間：2000年8月7日～10月28日(83日間)</p> <p>2 . 研修内容</p> <p>(1)日本語研修 企業研修及び研修中の日常生活の円滑化を図るために行うもので、日本入国前、5週間、日本入国後、3週間実施、又、研修中、日本の文化・習慣等についても研修を実施。</p> <p>(2)企業研修 各受入れ企業において、2ヶ月間実施、派遣及び受入れ企業の双方にメリットが出るようなテーマを選定して研修を行った。</p> <p>3 . 研修生派遣企業及び受入れ企業</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><派遣企業> 25社(34名)</p> <p>(1)株韓盛精工(1名)</p> <p>(2)株東湖精密(2名)</p> <p>(3)株大林MTI(1名)</p> <p>(4)東洋産業株(1名)</p> <p>(5)株ソウル不動産コンサルティング(1名)</p> <p>(6)株ドレミアイ(2名)</p> <p>(7)有井ノブプロダクション(1名)</p> <p>(8)大韓油化工業株(1名)</p> <p>(9)有ミュージックネットワーク(1名)</p> <p>(10)グリーンケーブルテレビジョン(1名)</p> <p>(11)瑞宝実業(1名)</p> <p>(12)韓国イタネット放送株(1名)</p> <p>(13)株天一RF(1名)</p> <p>(14)大邱佛教放送(1名)</p> <p>(15)大一機械商社(1名)</p> <p>(16)株大邱放送(2名)</p> <p>(17)韓国放送公社(3名)</p> <p>(18)韓国オパール株(1名)</p> <p>(19)三永インク&ペイント製造株(1名)</p> <p>(20)三永純化株(1名)</p> <p>(21)大韓パカライジング株(1名)</p> <p>(22)韓国精密化学株(1名)</p> <p>(23)株裕元COM-TECK(2名)</p> <p>(24)韓国横河電機株(3名)</p> <p>(25)株東京エレクトロニクスKORE(2名)</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><受入れ企業> 15社</p> <p>大垣精工株</p> <p>和田工業株</p> <p>大垣精工株</p> <p>同上</p> <p>株ハジメ 恒産</p> <p>社音楽出版社協会</p> <p>有アドス</p> <p>チツ株</p> <p>株ヒョンプランニング</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>株オパール</p> <p>東洋インク製造株</p> <p>株グイテック</p> <p>日本パカライジング株</p> <p>日華化学株</p> <p>株ヒョク企業</p> <p>横河電機株</p> <p>東京エレクトロニクス株</p> </td> </tr> </table> <p>4 . 成果等</p> <p>(1)本年度は、韓国側の要望により受入れ研修生を34名に増加した。特に本年度は、研修生の日本語のレベルが全般的に高く、企業研修がスムーズに行われた。</p> <p>(2)各受入れ企業の研修スケジュールは、研修中、研修生が常に多くの日本人、又、日本の文化・習慣等に接触出来るよう配慮したため、全員の研修生の日本に対する理解が深まった。</p>		<p><派遣企業> 25社(34名)</p> <p>(1)株韓盛精工(1名)</p> <p>(2)株東湖精密(2名)</p> <p>(3)株大林MTI(1名)</p> <p>(4)東洋産業株(1名)</p> <p>(5)株ソウル不動産コンサルティング(1名)</p> <p>(6)株ドレミアイ(2名)</p> <p>(7)有井ノブプロダクション(1名)</p> <p>(8)大韓油化工業株(1名)</p> <p>(9)有ミュージックネットワーク(1名)</p> <p>(10)グリーンケーブルテレビジョン(1名)</p> <p>(11)瑞宝実業(1名)</p> <p>(12)韓国イタネット放送株(1名)</p> <p>(13)株天一RF(1名)</p> <p>(14)大邱佛教放送(1名)</p> <p>(15)大一機械商社(1名)</p> <p>(16)株大邱放送(2名)</p> <p>(17)韓国放送公社(3名)</p> <p>(18)韓国オパール株(1名)</p> <p>(19)三永インク&ペイント製造株(1名)</p> <p>(20)三永純化株(1名)</p> <p>(21)大韓パカライジング株(1名)</p> <p>(22)韓国精密化学株(1名)</p> <p>(23)株裕元COM-TECK(2名)</p> <p>(24)韓国横河電機株(3名)</p> <p>(25)株東京エレクトロニクスKORE(2名)</p>	<p><受入れ企業> 15社</p> <p>大垣精工株</p> <p>和田工業株</p> <p>大垣精工株</p> <p>同上</p> <p>株ハジメ 恒産</p> <p>社音楽出版社協会</p> <p>有アドス</p> <p>チツ株</p> <p>株ヒョンプランニング</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>株オパール</p> <p>東洋インク製造株</p> <p>株グイテック</p> <p>日本パカライジング株</p> <p>日華化学株</p> <p>株ヒョク企業</p> <p>横河電機株</p> <p>東京エレクトロニクス株</p>
<p><派遣企業> 25社(34名)</p> <p>(1)株韓盛精工(1名)</p> <p>(2)株東湖精密(2名)</p> <p>(3)株大林MTI(1名)</p> <p>(4)東洋産業株(1名)</p> <p>(5)株ソウル不動産コンサルティング(1名)</p> <p>(6)株ドレミアイ(2名)</p> <p>(7)有井ノブプロダクション(1名)</p> <p>(8)大韓油化工業株(1名)</p> <p>(9)有ミュージックネットワーク(1名)</p> <p>(10)グリーンケーブルテレビジョン(1名)</p> <p>(11)瑞宝実業(1名)</p> <p>(12)韓国イタネット放送株(1名)</p> <p>(13)株天一RF(1名)</p> <p>(14)大邱佛教放送(1名)</p> <p>(15)大一機械商社(1名)</p> <p>(16)株大邱放送(2名)</p> <p>(17)韓国放送公社(3名)</p> <p>(18)韓国オパール株(1名)</p> <p>(19)三永インク&ペイント製造株(1名)</p> <p>(20)三永純化株(1名)</p> <p>(21)大韓パカライジング株(1名)</p> <p>(22)韓国精密化学株(1名)</p> <p>(23)株裕元COM-TECK(2名)</p> <p>(24)韓国横河電機株(3名)</p> <p>(25)株東京エレクトロニクスKORE(2名)</p>	<p><受入れ企業> 15社</p> <p>大垣精工株</p> <p>和田工業株</p> <p>大垣精工株</p> <p>同上</p> <p>株ハジメ 恒産</p> <p>社音楽出版社協会</p> <p>有アドス</p> <p>チツ株</p> <p>株ヒョンプランニング</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>株オパール</p> <p>東洋インク製造株</p> <p>株グイテック</p> <p>日本パカライジング株</p> <p>日華化学株</p> <p>株ヒョク企業</p> <p>横河電機株</p> <p>東京エレクトロニクス株</p>			

1 . 産業技術人材育成事業

事業名	(2) 技術者専門研修 c . 産業技術者中期専門研修 (共同事業)
事業内容	韓国中堅・中小企業の技術者を日本に招聘し、日本語研修の後、日本の企業に於いてそれぞれの専門分野の技術を習得する研修。 (事業規模 6 名)
実施状況	<p>1 . 研修期間 2000年(平成12年)6月20日～12月19日 (6ヶ月間)</p> <p>2 . 研修内容 (1) 日本語研修 企業研修及び企業研修中の日常生活の円滑化を図る為の日本語研修で、研修中、日本の文化・習慣等に就いての基礎知識も含めて習得。 (2) 企業研修 企業では、研修生の専門分野に関する技術を広く習得。 又、 研修中極力多くの日本の方々と接する事により、日本の良き理解者として育成。</p> <p>3 . 成果等 (1) 研修生全員は、日本語を十分マスタ - する事が出来ており、今後韓国での仕事の中に生かされるものと期待できる。 (2) 研修中は、寮における集団生活とした事で、日本人と接触する機会が多くなり、日本の文化・習慣を十分理解させる事が出来た。</p>

1 . 産業技術人材育成事業

事業名	(2) 技術者専門研修 d . K I T A 専門研修 (共同事業)																
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の現場技術者を対象に、現場の実務と管理に必要な研修を実施。</p> <p>(1) 対象：中堅・中小企業の現場技術者 4 0 名程度 (4 コ - ス。各コ - ス 1 0 名)</p> <p>(2) 期間：2 カ月半程度</p> <p>(3) 内容：講義 / 実習 / 工場見学</p>																
実施状況	<p>1 . 概要</p> <p>3 8 名の研修生が 9 月 1 8 日 (月) 来日、1 1 月 2 5 日 (土) 帰国するまでの 6 9 日間、(財) 北九州国際技術協力協会 (略称 KITA、所在地：北九州市) において 4 コ - スに分かれて研修。</p> <p>人 数：3 8 名 (注) 計画通り 4 0 名を決定したが、会社都合等により 2 名辞退。</p> <p>期 間：2 0 0 0 年 9 月 1 8 日 (月) 来日 ~ 1 1 月 2 5 日 (土) 帰国 (6 9 日間)</p> <p>コ - ス： 金属部品の加工と生産性向上、生産性向上技術、生産性向上のための設備技術、環境先進技術、の 4 コ - ス</p> <p>2 . 内容</p> <p>各コ - スとも、講義 / 実習 / 工場見学、及び、4 泊 5 日程度の研修旅行を実施。</p> <p>工場見学は九州一円の大手企業中心に、研修テーマに関係する企業、研究機関、自治体施設など。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">コ - ス名称 / 人員</th> <th style="width: 40%;">講義 / 実習項目</th> <th style="width: 30%;">研修受入機関企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">金属部品の加工と生産性向上 9 名</td> <td>・金属部品の各種加工法、試験検査法、劣化対策、品質管理、I E , Q C , 鋼材加工の自動化など</td> <td style="text-align: center;">2 2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生産性向上技術 9 名</td> <td>・I E , Q C , シェカス 制御、J I T , 工場レイアウト、V E , CAD/CAM , 工程管理、物流管理、T P M など</td> <td style="text-align: center;">3 5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生産性向上のための設備技術 1 2 名</td> <td>・設備診断、修繕計画、腐食、磨耗、潤滑管理、軸受保全、工作機械保全、電動機保全、空圧機器保全、疲労破壊等</td> <td style="text-align: center;">3 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">環境先進技術 8 名</td> <td>・産廃処理行政、再資源化技術、リサイクル技術、有害廃棄物対策、塵埃焼却設備、下水処理、水産加工物処理など</td> <td style="text-align: center;">4 6</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 . 今年度改良点</p> <p>(1) 期間同一化 : 4 コ - スとも同一期間とした (これまで、環境先進技術コ - スは短かった)</p> <p>(2) コ - ス名称変更：設備メンテナンス技術 生産性向上のための設備技術 産業廃棄物処理技術 環境先進技術</p> <p>(3) 事前リベンション : コ - スリ - ダ - 4 名が事前に韓国を訪問し、研修生にリベンション を実施</p> <p>(4) 工場見学先選択：研修生が工場見学先をある程度選択できるようにした</p> <p>4 . 成果概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K I T A のきめ細かい準備と配慮により、研修生に好評で韓国側の評価も高い。 ・講師陣が充実しており、実習・見学先の数及び質についても満足できるレベルである。 <p style="text-align: right;">(財) 北九州国際技術協力協会 (K I T A) に委託</p>		コ - ス名称 / 人員	講義 / 実習項目	研修受入機関企業	金属部品の加工と生産性向上 9 名	・金属部品の各種加工法、試験検査法、劣化対策、品質管理、I E , Q C , 鋼材加工の自動化など	2 2	生産性向上技術 9 名	・I E , Q C , シェカス 制御、J I T , 工場レイアウト、V E , CAD/CAM , 工程管理、物流管理、T P M など	3 5	生産性向上のための設備技術 1 2 名	・設備診断、修繕計画、腐食、磨耗、潤滑管理、軸受保全、工作機械保全、電動機保全、空圧機器保全、疲労破壊等	3 1	環境先進技術 8 名	・産廃処理行政、再資源化技術、リサイクル技術、有害廃棄物対策、塵埃焼却設備、下水処理、水産加工物処理など	4 6
コ - ス名称 / 人員	講義 / 実習項目	研修受入機関企業															
金属部品の加工と生産性向上 9 名	・金属部品の各種加工法、試験検査法、劣化対策、品質管理、I E , Q C , 鋼材加工の自動化など	2 2															
生産性向上技術 9 名	・I E , Q C , シェカス 制御、J I T , 工場レイアウト、V E , CAD/CAM , 工程管理、物流管理、T P M など	3 5															
生産性向上のための設備技術 1 2 名	・設備診断、修繕計画、腐食、磨耗、潤滑管理、軸受保全、工作機械保全、電動機保全、空圧機器保全、疲労破壊等	3 1															
環境先進技術 8 名	・産廃処理行政、再資源化技術、リサイクル技術、有害廃棄物対策、塵埃焼却設備、下水処理、水産加工物処理など	4 6															

1 . 産業技術人材育成事業

事業名	(3)理工系大学院生ウインタ - インスティテュ - ト																						
事業内容	<p>韓国の理工系大学院学生(博士/修士課程在籍者)を冬休みを利用して約2か月間日本へ招聘し国立研究所等で専門分野に関する研究を実施。</p> <p>1人数:50名程度 2期間:2か月程度</p> <p>3内容: 日本語学習 日本文化紹介 研究活動</p>																						
実施状況	<p>1.概要 大学院生44名(うち女性15名)が2001年1月5日(金)来日、2月24日(土)帰国するまでの51日間、つくば地区及び東京地区等において、日本語学習、日本文化研修、専門分野の研究活動を行った。</p> <p>2.受入研究機関 - - - 計21機関(つくば地区13、東京地区ほか8)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・機械技術研究所 (つくば) 5名</td> <td style="width: 50%;">・農業環境技術研究所 (つくば) 2名</td> </tr> <tr> <td>・建築研究所 (つくば) 1名</td> <td>・農業研究センタ - (つくば) 1名</td> </tr> <tr> <td>・金属材料技術研究所 (つくば) 2名</td> <td>・航空宇宙技術研究所 (東京) 1名</td> </tr> <tr> <td>・物質工学工業技術研究所(つくば) 5名</td> <td>・通信総合研究所 (東京) 1名</td> </tr> <tr> <td>・生命工学工業技術研究所(つくば) 3名</td> <td>・NHK放送技術研究所(東京) 1名</td> </tr> <tr> <td>・計量研究所 (つくば) 1名</td> <td>・産業安全研究所 (東京) 1名</td> </tr> <tr> <td>・気象研究所 (つくば) 1名</td> <td>・財団-トセンツグ 技術センタ - (東京) 1名</td> </tr> <tr> <td>・産業技術融合領域研究所(つくば) 1名</td> <td>・理化学研究所(東京,つくば、兵庫)8名</td> </tr> <tr> <td>・国立環境研究所 (つくば) 3名</td> <td>・石川県工業試験場 (石川) 1名</td> </tr> <tr> <td>・農業生物資源研究所 (つくば) 2名</td> <td>・新潟県農業総合研究所(新潟) 1名</td> </tr> <tr> <td>・資源環境技術総合研究所(つくば) 2名</td> <td style="text-align: right;">(計) 21機関 44名</td> </tr> </table> <p>3.特記:今回初めて、地方の研究所を加えた(兵庫1,石川1,新潟1)</p> <p>4.成果等</p> <p>第8回目を迎えた本ウインタ - インスティテュ - トも、目立った事故や病気もなく順調に推移し、参加学生は日本に対する理解と親近感を深めて帰国した。</p> <p>研修のための日本語集中学習(1月6日~13日)</p> <p>参加者の日本語レベルは、初心/初級18名、中級17名、上級9名であったが、短期間の学習にもかかわらず、上達した者も少なくなかった。</p> <p>研究活動(1月15日~2月22日)</p> <p>研究生からは、「同じ分野で研究している研究者との知己が得られた」、「研究分野で新領域の開拓ができた」、「新しい研究手法の習得ができた」等の意見が多かった。</p> <p>日本文化紹介</p> <p>京都への小旅行1回、東京都への小旅行1回、講演会2回、「日韓学生・市民交流会」1回、茶道教室1回、大相撲ト - ナメント観戦1回、を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(社)科学技術国際交流センター(JISTEC)に委託</p>	・機械技術研究所 (つくば) 5名	・農業環境技術研究所 (つくば) 2名	・建築研究所 (つくば) 1名	・農業研究センタ - (つくば) 1名	・金属材料技術研究所 (つくば) 2名	・航空宇宙技術研究所 (東京) 1名	・物質工学工業技術研究所(つくば) 5名	・通信総合研究所 (東京) 1名	・生命工学工業技術研究所(つくば) 3名	・NHK放送技術研究所(東京) 1名	・計量研究所 (つくば) 1名	・産業安全研究所 (東京) 1名	・気象研究所 (つくば) 1名	・財団-トセンツグ 技術センタ - (東京) 1名	・産業技術融合領域研究所(つくば) 1名	・理化学研究所(東京,つくば、兵庫)8名	・国立環境研究所 (つくば) 3名	・石川県工業試験場 (石川) 1名	・農業生物資源研究所 (つくば) 2名	・新潟県農業総合研究所(新潟) 1名	・資源環境技術総合研究所(つくば) 2名	(計) 21機関 44名
・機械技術研究所 (つくば) 5名	・農業環境技術研究所 (つくば) 2名																						
・建築研究所 (つくば) 1名	・農業研究センタ - (つくば) 1名																						
・金属材料技術研究所 (つくば) 2名	・航空宇宙技術研究所 (東京) 1名																						
・物質工学工業技術研究所(つくば) 5名	・通信総合研究所 (東京) 1名																						
・生命工学工業技術研究所(つくば) 3名	・NHK放送技術研究所(東京) 1名																						
・計量研究所 (つくば) 1名	・産業安全研究所 (東京) 1名																						
・気象研究所 (つくば) 1名	・財団-トセンツグ 技術センタ - (東京) 1名																						
・産業技術融合領域研究所(つくば) 1名	・理化学研究所(東京,つくば、兵庫)8名																						
・国立環境研究所 (つくば) 3名	・石川県工業試験場 (石川) 1名																						
・農業生物資源研究所 (つくば) 2名	・新潟県農業総合研究所(新潟) 1名																						
・資源環境技術総合研究所(つくば) 2名	(計) 21機関 44名																						

2 . 韓国産業生産性向上協力事業

事業名	(1) 生産性向上モデル企業育成																														
事業内容	<p>日本の技術専門家が韓国中堅・中小企業に赴き生産性の向上に関して行う指導協力。具体的には次のとおり。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 幹部教育（幹部の役割意識啓蒙と職場環境改善）</td> <td style="width: 50%;">4 生産性分析に基づく企業経営への改善助言</td> </tr> <tr> <td>2 現場従業員を含め生産管理・品質管理・安全管理等の生産現場管理技術向上教育</td> <td>5 人材開発の計画・実施に関する助言</td> </tr> <tr> <td>3 個別技術問題・課題に関する改善助言</td> <td>6 物作りのための管理者教育</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7 経営分析と分析結果に基く改善計画策定</td> </tr> </table>	1 幹部教育（幹部の役割意識啓蒙と職場環境改善）	4 生産性分析に基づく企業経営への改善助言	2 現場従業員を含め生産管理・品質管理・安全管理等の生産現場管理技術向上教育	5 人材開発の計画・実施に関する助言	3 個別技術問題・課題に関する改善助言	6 物作りのための管理者教育		7 経営分析と分析結果に基く改善計画策定																						
1 幹部教育（幹部の役割意識啓蒙と職場環境改善）	4 生産性分析に基づく企業経営への改善助言																														
2 現場従業員を含め生産管理・品質管理・安全管理等の生産現場管理技術向上教育	5 人材開発の計画・実施に関する助言																														
3 個別技術問題・課題に関する改善助言	6 物作りのための管理者教育																														
	7 経営分析と分析結果に基く改善計画策定																														
実施状況	<p>1 . 対象</p> <p>今年度対象企業として、10社を選定。（66社が応募）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">(1)東遠精密(株) (慶南咸安)</td> <td style="width: 33%;">〔食料品缶製缶、包装材、他〕</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>(2)清湖精密(株) (富川市)</td> <td>〔一般浄水器、冷温浄水器〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3)株) c o m m a x (城南市)</td> <td>〔ビデオフォ-ン、CCTV、他〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4)株) J M P (清州市)</td> <td>〔プラスチック金型・射出〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5)株) 巨 養 (安山市)</td> <td>〔ロ-ラベアリングリテ-ナ-〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6)東寶テ-ソ工業(株) (釜山市)</td> <td>〔各種チェ-ン〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7)株) 二元機工 (釜山市)</td> <td>〔自動車用部品(ツギ-ム、ディスクプレ-キ)〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8)正宇電子(株) (安養市)</td> <td>〔電話機、オ-ディオ機器PCB、組立〕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(9)株) 韓 水 (安山市)</td> <td>〔水処理用液剤、他〕</td> <td style="text-align: right;">*</td> </tr> <tr> <td>(10)東方金属工業(株) (浦項市)</td> <td>〔ステンレス線材製造〕</td> <td style="text-align: right;">*</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">* 工場診断実施 (註：紙面スペースの関係上派遣専門家氏名は略す)</p> <p>2 . 実施内容</p> <p>(1) 1社に対し各延べ2週間の現場指導を実施。工場診断については1週間実施。</p> <p>(2) 1社に対し専門家2名が夫々その専門性に応じセミナー、生産性向上全般、技術改善を担当し指導を実施。</p> <p>(3) 必要に応じて管理者教育を（役割意識啓蒙）実施。</p> <p>(4) 問題意識の高揚と生産性向上を目指し、自主改善プロジェクトチーム(2チーム/社)を編成し、活動。</p> <p>(5) 個別の技術問題・技術課題等に関しては、実情に応じて対処。</p> <p>3 . 成果概要</p> <p>(1) 各社の実情に合わせたきめ細かな指導協力を行った結果、経営者、管理者、従業員は生産性向上に向けての自分の役割を再認識し、職場の改善に取り組んだ。</p> <p>(2) 技術改善に関しては可能な限りの協力を行い、生産性向上に寄与した。</p> <p>(3) 生産性向上に関する自主解決力が養われ、継続できる風土づくりができた。</p> <p>(4) 経営改善に対する具体的な実施項目と計画が策定できた。</p> <p style="text-align: right;">事務局を日本エンジェルキャピタル(株)に委託</p>	(1)東遠精密(株) (慶南咸安)	〔食料品缶製缶、包装材、他〕		(2)清湖精密(株) (富川市)	〔一般浄水器、冷温浄水器〕		(3)株) c o m m a x (城南市)	〔ビデオフォ-ン、CCTV、他〕		(4)株) J M P (清州市)	〔プラスチック金型・射出〕		(5)株) 巨 養 (安山市)	〔ロ-ラベアリングリテ-ナ-〕		(6)東寶テ-ソ工業(株) (釜山市)	〔各種チェ-ン〕		(7)株) 二元機工 (釜山市)	〔自動車用部品(ツギ-ム、ディスクプレ-キ)〕		(8)正宇電子(株) (安養市)	〔電話機、オ-ディオ機器PCB、組立〕		(9)株) 韓 水 (安山市)	〔水処理用液剤、他〕	*	(10)東方金属工業(株) (浦項市)	〔ステンレス線材製造〕	*
(1)東遠精密(株) (慶南咸安)	〔食料品缶製缶、包装材、他〕																														
(2)清湖精密(株) (富川市)	〔一般浄水器、冷温浄水器〕																														
(3)株) c o m m a x (城南市)	〔ビデオフォ-ン、CCTV、他〕																														
(4)株) J M P (清州市)	〔プラスチック金型・射出〕																														
(5)株) 巨 養 (安山市)	〔ロ-ラベアリングリテ-ナ-〕																														
(6)東寶テ-ソ工業(株) (釜山市)	〔各種チェ-ン〕																														
(7)株) 二元機工 (釜山市)	〔自動車用部品(ツギ-ム、ディスクプレ-キ)〕																														
(8)正宇電子(株) (安養市)	〔電話機、オ-ディオ機器PCB、組立〕																														
(9)株) 韓 水 (安山市)	〔水処理用液剤、他〕	*																													
(10)東方金属工業(株) (浦項市)	〔ステンレス線材製造〕	*																													

2 . 韓国産業生産性向上協力事業

事業名 (2) 専門技術者派遣 a . 短期専門技術者派遣																	
事業内容	日本の専門家2名が1社に、1週間滞在し、現況、要望等を十分に勘案しながら、経営、資材・在庫、設備、生産、品質、環境・安全等に関して重点課題を選びコンサルティングを実施した。さらに、会社幹部に対して工場経営について改善の支援・提言を行った。企業の状況に応じてセミナーも開催した。																
実施状況	<p>1 . 実施内容概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">派遣先</th> <th style="width: 15%;">専門技術者</th> <th style="width: 15%;">実施期間</th> <th style="width: 55%;">指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">ATEC SYS. (ソウル)</td> <td style="padding: 5px;">金子 四郎 山崎 浩</td> <td style="padding: 5px;">2000年11月5日 ~11日</td> <td style="padding: 5px;">LCD応用機器メ-カ-。 レイアウトの改善、物流改善、作業改善、作業分析、品質管理図作成の基本、作業環境に対する指導及びセミナー-実施。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">韓寶工業 (安山)</td> <td style="padding: 5px;">柴田 力 伊豫部将三</td> <td style="padding: 5px;">2001年1月15日 ~20日</td> <td style="padding: 5px;">溶融亜鉛メッキメ-カ-。 工程改善、作業改善、ドロス削減対策、塩酸ガス漏洩防止策に対する指導及びセミナー-実施。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">J-MICRON (安山)</td> <td style="padding: 5px;">三好 紀臣 田中 義二</td> <td style="padding: 5px;">2001年2月5日 ~10日</td> <td style="padding: 5px;">電子部品メッキメ-カ-。 自視検査方法改善、自動化ラインの品質保証、設備稼働率向上、コストダウンの具体策に対する指導及びセミナー-実施。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 . 成果</p> <p>1週間の短い期間の中で、企業の要望事項、専門家の現況分析に基づいて、固有技術、管理技術の専門家が現場指導を実施した。併わせて、管理者、一般社員に対しセミナー-を実施した。企業が高く評価している。</p>	派遣先	専門技術者	実施期間	指導内容	ATEC SYS. (ソウル)	金子 四郎 山崎 浩	2000年11月5日 ~11日	LCD応用機器メ-カ-。 レイアウトの改善、物流改善、作業改善、作業分析、品質管理図作成の基本、作業環境に対する指導及びセミナー-実施。	韓寶工業 (安山)	柴田 力 伊豫部将三	2001年1月15日 ~20日	溶融亜鉛メッキメ-カ-。 工程改善、作業改善、ドロス削減対策、塩酸ガス漏洩防止策に対する指導及びセミナー-実施。	J-MICRON (安山)	三好 紀臣 田中 義二	2001年2月5日 ~10日	電子部品メッキメ-カ-。 自視検査方法改善、自動化ラインの品質保証、設備稼働率向上、コストダウンの具体策に対する指導及びセミナー-実施。
派遣先	専門技術者	実施期間	指導内容														
ATEC SYS. (ソウル)	金子 四郎 山崎 浩	2000年11月5日 ~11日	LCD応用機器メ-カ-。 レイアウトの改善、物流改善、作業改善、作業分析、品質管理図作成の基本、作業環境に対する指導及びセミナー-実施。														
韓寶工業 (安山)	柴田 力 伊豫部将三	2001年1月15日 ~20日	溶融亜鉛メッキメ-カ-。 工程改善、作業改善、ドロス削減対策、塩酸ガス漏洩防止策に対する指導及びセミナー-実施。														
J-MICRON (安山)	三好 紀臣 田中 義二	2001年2月5日 ~10日	電子部品メッキメ-カ-。 自視検査方法改善、自動化ラインの品質保証、設備稼働率向上、コストダウンの具体策に対する指導及びセミナー-実施。														

2 . 韓国産業生産性向上協力事業

事業名	(2) 産業技術交流促進ミッション等 b . K I T A 専門家派遣 (共同事業)																										
事業内容	<p>九州と韓国間の貿易、投資及び産業技術分野に於ける協力の促進と、双方の地方間経済交流の拡大を目的として「九州・韓国経済交流会議」が、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、93年より定期的開催されている。</p> <p>本事業は、同会議で合意された事業のうちの一つ。</p> <p>当財団は本事業の所要経費の全額を支援。</p>																										
実施状況	<p>1 . 実施内容概要</p> <p>(1) 2000年7月 (財)北九州国際技術協力協会(K I T A)、北九州市国際経済課スタッフによる短期専門技術者派遣のための事前調査(対象先13社)</p> <p>(2)2000年9月 選定された専門技術者による事前訪問 (選定企業5社、指導先との打合せ)</p> <p>(3)2000年10月～12月 本指導実施5社</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">派遣先</th> <th style="width: 20%;">派遣技術者</th> <th style="width: 15%;">派遣期間</th> <th style="width: 45%;">指 導 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇星精工 (光州)</td> <td>本村 隆</td> <td>6日間</td> <td>射出成形金型の製造日程作成、ワ-カンプ リング 法</td> </tr> <tr> <td>世協テクニクス(光州)</td> <td>小松 榮一</td> <td>12日間</td> <td>品質管理の基本事項、現場品質向上</td> </tr> <tr> <td>DREAM TECH.(金海)</td> <td>越智 俊彦</td> <td>5日間</td> <td>真空成形-ルト の知識、製造の一般的な流れ</td> </tr> <tr> <td>HIGH-TECH(仁川)</td> <td>越智 俊彦</td> <td>5日間</td> <td>金型設計、検図、CAM作業全般</td> </tr> <tr> <td>太陽機電 (釜山)</td> <td>小林 昭行</td> <td>10日間</td> <td>空圧機器の商品化・開発に対する助言</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 . 派遣指導結果の評価</p> <p>昨年と同様に事前調査、事前訪問による派遣先企業の具体的ニーズ確認の上、指導範囲を絞って明確に設定した。基本的な専門技術や現場技能に係わる指導であったこと、専門技術者が高い技術と豊富な経験を有していたことなどから、すべての企業と相手側技術者から高い評価を得ることができた。又、技術指導をより効果的に実施するために事後調査を行った。</p> <p style="text-align: right;">(財)北九州国際技術協力協会(K I T A)、韓国中小企業振興公団に委託</p>			派遣先	派遣技術者	派遣期間	指 導 内 容	宇星精工 (光州)	本村 隆	6日間	射出成形金型の製造日程作成、ワ-カンプ リング 法	世協テクニクス(光州)	小松 榮一	12日間	品質管理の基本事項、現場品質向上	DREAM TECH.(金海)	越智 俊彦	5日間	真空成形-ルト の知識、製造の一般的な流れ	HIGH-TECH(仁川)	越智 俊彦	5日間	金型設計、検図、CAM作業全般	太陽機電 (釜山)	小林 昭行	10日間	空圧機器の商品化・開発に対する助言
派遣先	派遣技術者	派遣期間	指 導 内 容																								
宇星精工 (光州)	本村 隆	6日間	射出成形金型の製造日程作成、ワ-カンプ リング 法																								
世協テクニクス(光州)	小松 榮一	12日間	品質管理の基本事項、現場品質向上																								
DREAM TECH.(金海)	越智 俊彦	5日間	真空成形-ルト の知識、製造の一般的な流れ																								
HIGH-TECH(仁川)	越智 俊彦	5日間	金型設計、検図、CAM作業全般																								
太陽機電 (釜山)	小林 昭行	10日間	空圧機器の商品化・開発に対する助言																								

2. 韓国産業生産性向上協力事業

事業名	(3) 生産性向上短期コンサルティング (共同事業)																									
事業内容	企業の生産性向上に協力するため、中小企業を対象に7つの技術分野の日本の専門家が各分野毎に企業に出向き指導協力を行う短期コンサルティング。(1.5日/社)																									
実施状況	<p>1. 期間 2000年(平成12年)11月20日(月)～25日(土)</p> <p>2. 実施内容 1 指導専門家：7人 2 訪問企業：21社 3 企業所在地：釜山廣域市周辺工業団地 4 内容：組立自動化、電子組立自動化、機械加工、溶接技術、プレス金型技術、射出成形、金属加工に関する計7人の技術専門家が、1人3社合計21社の中小企業を訪問し、事情聴取、現場視察を行ってその企業の抱えている問題を把握しそれらに対する適切な改善策、今後の方策等を提示した。</p> <p>3. 成果概要等 1.5日の短期のコンサルティングにもかかわらず、大部分の企業が、高く評価している。今後共、指導内容の充実化を図っていきたい。</p> <p>4. その他 実施企業21社及び指導を行った専門家は下記の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="268 1406 1455 1780"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>専門家氏名</th> <th>実施企業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 機械組立て自動化</td> <td>柴田 力</td> <td>嶺南自動化機械</td> </tr> <tr> <td>2. 電子組立て自動化</td> <td>山崎 浩</td> <td>(株)一山</td> </tr> <tr> <td>3. 機械加工</td> <td>梅原 敏靖</td> <td>NK CO.LTD</td> </tr> <tr> <td>4. 接着技術</td> <td>西 武史</td> <td>MING SUNG IND.</td> </tr> <tr> <td>5. プレス金型技術</td> <td>伊豫部将三</td> <td>雙龍産業社</td> </tr> <tr> <td>6. 射出成形</td> <td>渋谷 泰宏</td> <td>(株)釜山 PLASTIC</td> </tr> <tr> <td>7. 金属加工</td> <td>三好 紀臣</td> <td>LEENO 工業(株)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">事務局を日本エンジェルキャピタル(株)に委託</p>		分野	専門家氏名	実施企業名	1. 機械組立て自動化	柴田 力	嶺南自動化機械	2. 電子組立て自動化	山崎 浩	(株)一山	3. 機械加工	梅原 敏靖	NK CO.LTD	4. 接着技術	西 武史	MING SUNG IND.	5. プレス金型技術	伊豫部将三	雙龍産業社	6. 射出成形	渋谷 泰宏	(株)釜山 PLASTIC	7. 金属加工	三好 紀臣	LEENO 工業(株)
分野	専門家氏名	実施企業名																								
1. 機械組立て自動化	柴田 力	嶺南自動化機械																								
2. 電子組立て自動化	山崎 浩	(株)一山																								
3. 機械加工	梅原 敏靖	NK CO.LTD																								
4. 接着技術	西 武史	MING SUNG IND.																								
5. プレス金型技術	伊豫部将三	雙龍産業社																								
6. 射出成形	渋谷 泰宏	(株)釜山 PLASTIC																								
7. 金属加工	三好 紀臣	LEENO 工業(株)																								

3. 産業技術交流事業

事業名	(1) 産業技術交流促進ミッション		(共同事業)	
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の経営者 / 中堅幹部を1回につき40名程度日本に招聘し、日本の中堅・中小企業の工場見学を中心に産業技術交流を年2回実施。</p> <p>(1)対象：韓国中堅・中小企業の経営者 / 中堅幹部40名程度 / 回</p> <p>(2)期間：1週間程度 / 回</p> <p>(3)内容： 工場見学（機械系と電機系の2グループに分け、各グループ5工場程度を見学） 日韓中堅・中小企業経営者交流会、 展示会见学、 セミナー、 等</p>			
実施状況		2000年度春季 (= 第10回)	2000年度秋期 (= 第11回)	
	期間 (来日～帰国)	00年5月21日(日)～26日(土)	00年10月22日(日)～28日(土)	
	場所	大阪 / 兵庫	北陸 (新潟 / 富山 / 石川 / 福井)	
	ミッションメンバー	43名	39名	
	後援	近畿通産局、(社)兵庫工業会	関東 / 中部 / 近畿通産局、北陸4県北陸経済連合会ほか計9機関	
	内容	工場見学	<ul style="list-style-type: none"> ・光洋機械工業(株)・大光電気(株) ・さくら精機(株)・ハ-マン(株) ・オ-ク輸送機(株)・古野電気(株) ・グローリ- 機器(株)・シメックス(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)新潟鉄工所 ・(株)サイカワ ・(株)小松製作所 ・安田蒲鉾(株) ・新潟通信機(株) ・日本精機(株) ・松下電器産業(株) ・セ-レン(株)
		展示会见学	「テカピア 2000 大阪」於インテックス大阪	「北陸技術交流フェア」於、福井県産業会館
		セミナー	講師 韓国大使館 李賢在商務官 成興工業(株) 高藤敬弼社長	講師 韓国大使館 李賢在商務官 (株)サンリ-ド 小山孝雄社長
企業交流会		日本企業27社が参加し、淡路夢舞台国際会議場で4班に分けて実施	日本企業20社が参加し、オ-クホル 新潟で3班に分けて実施	
<p>成果概要等</p> <p>今年度から初めて、官公庁 / 経済団体の後援をいただくとともに、春期ミッションは第10回を記念して内容極めて充実したものとし、秋期ミッションも「北陸・韓国経済交流会議」(日韓の官公庁がメンバー)の合意事項を受けて実施したので、これに比肩する内容となった。</p> <p>秋期ミッションでは韓国側ベンチャー - 企業5社が参加し、日本側ベンチャー - 約20社の出席を得て日韓ベンチャー - プラザも開催し、真剣な商談会が行われた。</p> <p style="text-align: right;">(株)第一勧銀総合研究所に委託</p>				

3 . 産業技術交流事業

事業名	(3) 官民若手交流事業支援	(共同事業)
事業内容	日韓両国の産業界・経済界、官公庁、マスコミ、学会、文化・芸術関係者等、各界の若手実力者を相互に招聘し、テーマを決めた全体交流、各界個別の交流、文化交流などを行い、現状認識・相互理解・国際交流を深めると共に、次世代の日韓関係を担うオピニオンリーダの育成を図ることを目的とした事業。	
実施状況	<p>1 . 対象人数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスコミ、報道、教育関係者も含めた日本及び韓国政官財の若手実力者日本側・韓国側ほぼ同数とし各 20 名程度。 ・ 必要に応じ、韓国の若手国会議員等も、別途個別に招聘する。 <p>2 . 実施時期</p> <p>(1) 第 1 回次世代オピニオンリーダ交流訪韓団：2000 年 10 月 9 日～18 日</p> <p>(2) 第 1 回次世代オピニオンリーダ交流訪日団：2000 年 12 月 1 日～10 日</p> <p>(3) 韓国若手議員交流訪日団：2001 年 1 月～3 月（3 回）</p> <p>3 . 概要及び成果</p> <p>(1) 第 1 回次世代オピニオンリーダ交流訪韓団 韓国外交通商部・産業資源部・日本大使館・国会議員等政府関係者との懇談、現代重工業や政府が支援する工業団地のベンチャ等企業訪問・工場見学、中央大学総長・東亜大学校教授の講演、成均館大学訪問・学生との交流、日本文化研究所等文化関係者との懇談や伝統芸能鑑賞等多岐に亘り交流を実施した。 参加メンバーは韓国訪問が初めてか、まだ韓国をよく知らないメンバーが大半で、随所で質問が相次ぎ、活発な討議が成された。ほぼ全員が韓国のエネルギー活動力と、日本とは異なる独自の価値観・伝統文化に深い感銘を受けた模様。一方で団員間の交流も進み、韓国側の丁寧な受け入れもあって非常に好評であった。</p> <p>(2) 第 1 回次世代オピニオンリーダ交流訪日団 国会・外務省・通産省・兵庫県庁・韓国大使館等を訪問しての国会議員・政府・自治体関係者との懇談、トヨタ自動車・NHK・横河電機・ワコールの企業訪問並びに工場見学、日経新聞・東洋経済のマスコミ関係者の講演、京都大学・亜細亜大学での大学教授講演及び学生との交流、東京・名古屋・神戸での交流会開催、淡路震災博物館視察、京都の社寺見学等と、産業・文化両面に亘る幅広い交流事業を実施した。 参加メンバーは 30 代・40 代が中心で、当初日本に対する警戒心が感じられたが、交流事業を通じて日を追うごとに親近感が増し、最後の反省会でも今回のミッションがよい意味での日本理解の契機となったということ多数が発言した。</p> <p>(3) 韓国若手議員交流訪日団 2001 年度 1 月から 3 月にかけて、韓国のハンナラ党(1 月)・自民連(2 月)・民主党(3 月)の若手議員が相次いで合計 13 名が来日し、日本側国会議員、財界関係者等と懇談し、関連施設を見学した。</p>	

3 . 産業技術交流事業

事業名	(4) 地域間各種交流事業支援 九州・韓国経済交流会議関連事業への参加と支援
事業内容	九州と韓国の貿易、投資及び一産業技術分野に於ける協力の促進と、双方の地方間経済交流の拡大を目的として「九州・韓国経済交流会議」が、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、93年より定期的で開催されている。 本事業は、同会議で合意された事業のうちの一つ。 財団は本事業の所要経費の一部を支援する他、事業の一つに当る下記交流ミッションに参加。
実 施 状 況	<p><u>九州・韓国産業技術交流ミッション</u></p> <p>1 . 事業主催者 当財団、九州・韓国経済交流会議運営委員会</p> <p>2 . ミッション参加者 企業14社（機械、金型、電機・電子、ソフトウェア）、九州通産局、北九州市、(社)九州機械工業振興会、当財団</p> <p>3 . 実施期間 2001年2月21日～2月23日（3日間）</p> <p>4 . 訪問先 ソウル特別市</p> <p>5 . 主要行事 ・企業視察（機械、金型、電子） ・九州・韓国産業技術交流フォーラム ・商談会 ・韓国総合貿易展示場（COEX）日韓フェスティバル見学</p> <p>6 . 成果概要 両国企業、関係団体等の中で、活発な意見交換ができた。また商談会も盛会であった。（現在、商談継続案件・実績等集計中）。 02年度についても両国関係者から要望が高く、実施が予定されている。</p>

3 . 産業技術交流事業

事業名	(4) 地域間各種交流事業支援 北陸・韓国経済交流会議への支援
事業内容	日韓地域間の貿易、投資及び産業技術分野に於ける協力の促進と、双方の地域間交流協力の拡大を目的とする事業への支援として 2000 年度は第 2 回北陸・韓国経済交流会議への支援を実施。
実施状況	<p>1 . 実施日 2001 年 2 月 19 日～21 日 (2 日間) 於 : ソウル新羅ホテル</p> <p>2 . 主催者 経済産業省 (中部経済産業局が事務局で東北、近畿各経済局がサポ - ト) 韓国産業資源部・韓日財団</p> <p>3 . 協力者 北陸 4 県 (新潟県、富山県、石川県、福井県) と関連経済団体及び当財団。</p> <p>4 . 概要 (1) 日本から市川中部経済産業局長を始め、新潟・富山・石川・福井 4 県の副知事他や北陸経済連合会等の関係者約 100 名が参加した。 (2) 韓国側からは産業資源部の鄭国際協力投資局長以下、海洋水産省・大邱市・蔚山市等の政府・自治体、経済団体、民間企業関係者 100 名強が参加し、総勢 200 名を超える盛大な交流会議となった。 (3) 「官民合同会議」「官民経済交流会議」「対日投資セミナー」「商談会」「日韓フェスティバル視察」等が実施された。 (4) 当財団は事務局サポ - トと、昼食交流会を主催した。</p> <p>5 . 成果 (1) これは昨年富山で開催された第 1 回会議に続くもので、今後、 北陸・韓国間のパ - トナ - シップの構築 産業技術協力 調査研究 の 3 分野で、産業技術協力ミッションの相互派遣、中小企業の技術者や青少年の交流、東アジアにおける物流システムの共同研究結果の活用等 13 項目で合意し、高い成果を得た。 (2) 当財団は「産業技術交流促進ミッション」(昨年 10 月に北陸地区を訪問) や、「ウィンター・インスティテュート」、「韓国を中心とした東アジア地域の国際物流のあり方」に関する委託調査等を通して具体的業務で成果を挙げている。</p>

3 . 産業技術交流事業

事業名	(5) 日韓フェスティバル事業支援
事業内容	2002年度W杯及びこれを契機とした国民交流事業として日韓双方に於て「産業・技術・物産・文化を対象とした展示会を相互に相手国にて開催する」という政府合意に基く第1回日本側イベント「日韓フェスティバル(日韓交流際)」を日本自転車振興会の補助金を得て、JETROと共同で実施し、多大な成果を得た。(当財団は文化・福祉関係を担当)
実施状況	<p>1. 対象者 ; 一般市民・関連業界・マスコミ等 約11万人が入場</p> <p>2. 実施期間; 2001年2月16日~25日(10日間)</p> <p>3. 開催場所; ソウル市韓国総合貿易展示場(COEX)</p> <p>4. 実施機関; 主催 JETRO, 日韓財団 後援 経済産業省・韓国政府産業資源部 推進 「日韓フェスティバル推進協議委員会」</p> <p>5. 概要及び成果</p> <p>(1)概要</p> <p>全体のテ - マは、「情報・福祉・環境・生活文化」で、当財団は特に文化関係を担当し、日本自転車振興会の補助金及び各団体の協力を得て次の催しを企画・実施した。</p> <p>音楽・文化交流展(大型画面での音楽映像提供、CD視聴等)</p> <p>映画交流展(「誘拐」「長崎ぶらぶら節」「卓球温泉」「新宿少年探偵団」の計4本の日本映画上映)</p> <p>スポ - ツ交流展(大型画面でのサッカー - 映像放映、スポ - ツ用具試作等)</p> <p>日本伝統芸能展(「石見神楽」「草地踊り」「琉球舞」「能舞」等の実演)</p> <p>伝統工芸品展(「陶器」「木工品」「漆器」「和紙」等の製作実演)</p> <p>服飾文化展(文化服装学院によるファッションショ - 等)</p> <p>福祉・共用品展(障害者用ベッド、福祉関連生活用品等展示)</p> <p>(2)成果</p> <p>日本の最近の音楽・映画(特にアイドル系)に対する韓国若年層の関心が高いことを背景に、最初はアイドル系の音楽・映画に人気が集まった。</p> <p>子供達がロボットやゲームで楽しそうに遊ぶ姿や、若者達が熱心にサッカー - 映像に見入る姿も見られた。</p> <p>また、音や動きのある伝統芸能やファッションショ - が注目を浴びる反面、地味と思える工芸品の実演に意外な人だかりが出来たり、健康用具として展示した寝椅子やマッサージ器の順番を待つ姿も見られた。</p> <p>それぞれの分野に於いて韓国国民が相応の理解を示し、日本の生活・文化に対する関心が今後更に高まってゆくものと思われる。</p>

4 . 調査広報事業

事業名	(2) 経営管理セミナー (共同事業)
事業内容	<p>「IT時代における製造業成長戦略」というテーマの下にソウルで実施。</p> <p>1 対象：韓国中堅・中小企業の経営者層、中堅幹部約100名</p> <p>2 期間：2日</p> <p>3 内容： 講演及びパネルディスカッション 製造業の基本である「ものづくり」の大切さはIT時代においても変わらないという観点から講演及びパネルディスカッションを行う。</p>
	<p>1 . 期間：2000年9月28日(木)～29日(金) 【2日間】</p> <p>2 . 会場：COEXインタ - コンチネンタル・ソウル</p> <p>3 . 人員：登録 = 214名</p> <p>4 . 内容：</p> <p>1 第一日目</p> <p>日本側基調講演：「IT時代における製造業高度化」 日本電気(株) 相談役 関本忠弘</p> <p>韓国側基調講演：「製造業のIT導入でe-business化」 韓国科学技術院 教授 裴洵勲</p> <p>日本側事例発表：「私に関わってきた東京エレクトロングループ」 東京エレクトロングループ 神村敏夫</p> <p>韓国側事例発表：「仕立ての経営に世界最高指向」 PILKOR 電子(株) 社長 趙鍾大</p> <p>パネルディスカッション：</p> <p>モデレ - タ：(株)野村総合研究所 首席研究員 椎野謙次</p> <p>パネラ - ： JETROソウルセンター 部長 中沢則夫 東京エレクトロングループ 常勤監査役 神村敏夫 韓国電子商取引協会 副会長 金東訓 PILKOR 電子(株) 社長 趙鍾大</p> <p>2 第二日目</p> <p>韓国側事例発表：「世界最大のRoyalty Marketing社」 講師：TG CORP 社長 鄭晶太</p> <p>日本側事例発表：「東大阪中小企業の挑戦」 講師：(株)シナガワ 代表取締役社長 品川隆幸</p> <p>韓国側事例発表：「組織活性化と品質の競争力」 講師：(株)大韓空調 社長 奇乗泰</p> <p>日本側事例発表：「IT革命の本質と最新のビジネスソリューション」 講師 (株)トリムアーツ 山本孝昭</p> <p>日本側事例発表：「韓国ソニ - の世界への挑戦 - 」 講師：韓国ソニ - 電子(株) 代表理事 張炳錫</p> <p>パネルディスカッション：</p> <p>モデレ - タ：成均館大学 教授 鄭在水</p> <p>パネラ - ： TG CORP 社長 鄭晶太 (株)トリムアーツ 山本孝昭 (株)シナガワ 代表取締役社長 品川隆幸 (株)大韓空調 社長 奇乗泰 韓国ソニ - 電子(株) 代表理事 張炳錫</p> <p>5 . 成果概要等</p> <p>企画に当たり、韓国経済の状況、受講者のニーズ(理論よりも事例を好む、ベンチャー - 企業に関心高い)を考慮してテーマ及び講師陣を決定した。今回は韓日財団との共同事業としたため、募集から会場手配準備に至るまで、殆どすべての現地対応業務は韓日財団が行った。初日の基調講演は大物講師を招聘したこともあり盛況であったが、以降、事例発表、パネルディスカッションと進むにつれて出席者が減少したので、次回から改良を要す。</p> <p>(株)野村総合研究所ソウル支店に委託(日韓財団業務のみ)</p> <p>註：尚、韓国側の事情及び開催時期の都合上、1産業国際競争力向上セミナーの内容を本セミナーに含め出席者を200名に増加させて実施した。</p>

・日韓両財団「連絡協議会」及び「幹事会」の開催

1992年6月に日韓両国政府間で合意された「日韓貿易不均衡是正等のための具体的実践計画」の中で両国の「産業技術協力財団」が協力して業務を実施していくよう連絡協議会を設置することが定められており、その下部機関として幹事会を設け、必要により随時協議することとなっている。

1. 第7回の連絡協議会は下記の通り開催された。

日 時：2000年6月1日（木）

場 所：東京、ホテルオ - クラ別館

出席者：

（日本側）

委員長 藤村正哉 理事長
 委 員 米倉 功 副理事長
 " 渡里杉一郎 副理事長
 " 大庭 浩 副理事長
 " 飯島英胤
 " 西村和義 専務理事
 幹 事 成田洋助 常務理事・事務局長

（韓国側）

委員長 金相廈 理事長
 委 員 金 中 理事
 " 姜晋求 理事
 " 趙錫來 理事
 " 李春林 理事
 " 申徳鉉 専務理事
 幹 事 許南整 理事

議 題：1 両国財団の1999年度事業実績

2 " 2000年度事業計画

3 " 今後の協力（意見交換）

（なお、第8回の連絡協議会は2001年4月13日（金）韓国光州廣域市にて開催された。）

2. 第8回の連絡協議会幹事会は下記の通り開催された。

日 時：2000年11月1日（火）

場 所：東京、東京ド - ムホテル

出席者：

（日本側）

理事長	藤村正哉	日韓産業技術協力財団	理事長
主 査	西村和義	"	専務理事
委 員	成田洋助	"	常務理事・事務局長

委員	山本治男	〃	事業第一部長
〃	山崎 弘	〃	事業第二部長
〃	横山光雄	〃	事業第三部長
〃	須々木智行	〃	事業管理部長
幹事(兼)	成田洋助		

OBSERVER	城内 實	外務省	アジア局北東アジア課	課長補佐
〃	松本奏一	通商産業省	通商政策局北西アジア課	課長補佐

(韓国側)責任幹事	申 徳 鉉	韓日産業技術協力財団	専務理事
幹事委員	申 栄 敏	韓日財団総務管理 TEAM	TEAM 長
委員	朴 秉 駿	中小企業振興公団日本事務所	所長
〃	延 一 煥	韓国科学財団学術支援 TEAM	TEAM 長
〃	許 南 整	韓日財団 産業協力 TEAM	TEAMT 長
〃	金 汝 種	韓日財団 技術協力 TEAM	TEAMT 長
	宋 成 基	韓日財団 企画管理 TEAM	部 長

OBSERVER	金 榮 三	産業資源部	亜州協力課	書記官
〃	金 珍 旭	外交通商部	亞太通商課	事務官

事務局	趙 徳 卯	韓日財団	企画管理 TEAM	次 長
-----	-------	------	-----------	-----

通 訊	朴 輝
-----	-----

議 題：1 両国財団の2000年度事業推進状況

- | | | |
|---|---|----------------------|
| 2 | 〃 | 2001年度事業についての方針(案)説明 |
| 3 | 〃 | 共同事業(案)についての説明 |
| 4 | 〃 | 今後の協力(意見交換) |

以 上

財 団 日 誌 抜 粋

月 日	事 項
平成12年	
4月3日(月)	通産省北西アジア課井上市場専門官転任、並びに松本課長補佐新任の挨拶のため来訪。(西村専務理事他が対応)
4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・藤村理事長が駐日大韓民国崔相龍特命全権大使(新任)を表敬訪問。(西村専務理事、日韓経済協会村上専務理事同行) ・「先進技術者専門研修」受入企業発掘のため横山部長が北海道通産局及び関連企業を訪問。(6日まで)
7日(金)	「生産性向上モデル企業育成事業」企業事前調査説明会。金子四郎、三好紀臣、柴田力、伊豫部将三の4専門家各氏、(株)日本エンジェルキャピタル(事務局委託先)より関野雅史、尾崎洪弼、茂木輝夫の各氏、財団より西村専務理事、成田常務理事、山崎部長が出席。〔於財団会議室〕
10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業管理部長として須々木智行氏(東レ株式会社より4月1日付で出向)が着任。 ・「産業技術交流促進ミッション」事業実施現場の事前調査のため山本部長が阪神地区へ出張。(14日まで)
11日(火)	「先進技術者研修」事業での研究生受入れ依頼等打合せのため成田常務理事、横山部長が岐阜県産業経済振興センター及び県内の受入れ企業を訪問。(12日まで)
14日(金)	韓国溶接工業協同組合顧問孫炳榮(理学博士)が業務説明のため来訪。(西村専務理事、成田常務理事、山崎部長が対応)
17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓日経済協会前副会長飴脰爻氏が来訪。(西村専務理事が対応) ・「生産性向上モデル企業育成」事業対象候補企業事前調査(前期)のため山崎部長が韓国へ出張。〔於、ソウル、仁川、安山各都市(22日まで)〕 ・「先進技術者研修」事業の研修生受入れ企業事前調査のため横山部長が出張。〔於、岩手県宮古市。和田工業(株)〕
18日(火)	「産業技術交流促進ミッション受入れ」事業準備打合せのため成田常務理

月 日	事 項
	事が神戸大学経営学部加護野教授を訪問及び神戸市内にて担当通訳 2 名と業務打合せ。
4 月 20 日 (木)	決算会計監査。〔板垣太栄三公認会計士〕(21 日まで)
24 日 (月)	「第 4 回環日本海経済交流研究会」(通産省・北陸 4 県地方自治体、経済団体、関係機関等により構成)に山崎部長が出席。〔於、富山第一ホテル〕
25 日 (火)	崔相龍駐日本国大韓民国特令全権大使の着任。歓迎会に山本部長が出席。〔於、クラブ関東〕
26 日 (水)	「産業技術交流促進ミッション受入れ」事業におけるセミナー - 講師との打合せのため成田常務理事が出張。〔於、八尾市成興工業(株)〕
5 月 7 日 (日)	「生産性向上モデル企業育成」対象企業候補 8 社の事前調査(後期)のため山崎部長が韓国へ出張。〔於、釜山、水原、温陽、ソウルの各都市(13 日まで)。専門家 2 名(金子四郎氏、伊豫部将三氏)、事務局 1 名(尾崎洪弼氏)同行。〕
10 日 (水)	在ソウル、「ソウルジャパンプラブ(SJC)」加入企業を対象とする「2000 年度第 1 回経営研究会」に出席(5 月 12 日)及び仁川市内の中小製造業視察のため西村専務理事が出張。〔ソウル市、仁川市(13 日まで)〕
16 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・大韓貿易投資振興公社(KOTRA) 韓国貿易センタ - (東京)主催の懇談会(部品・素材訪韓ミッション関係者出席)に西村専務理事、成田常務理事が出席。〔於、日比谷聘珍楼〕 ・「生産性向上モデル企業育成」事業実施事前打合せ。〔於、財団会議室〕金子四郎、梅原敏靖両専門家、関野雅史事務局、財団より山崎部長が出席。
17 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 32 回日韓・韓日経済人会議結団式に西村専務理事、成田常務理事が団員として又須々木部長が随員として出席。〔於、経団連会館〕 ・「先進技術者研修」事業の研修生事前面接(第 2 回)のため横山部長が

月 日	事 項
5月18日(木)	<p>韓国へ出張。〔於、ソウル市他(29日まで)〕</p> <p>小島監事・杉田監事への事業及び決算報告。(西村専務理事、成田常務理事)</p>
21日(日)	<p>・産業技術交流促進ミッション(第1班一行40名)が韓国より来日、阪神地区にて見学・交流等の活動予定。西村専務理事、成田常務理事、山本部長、須々木部長が出席(26日まで)〔於、大阪市及び兵庫県〕(株)第一勧銀総合研究所(DKR)に委託)</p> <p>・「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第1社目前期東遠精密株)のため山崎部長が出張。〔於、韓国咸安市(25日まで)〕</p>
30日(火)	<p>大韓貿易投資振興公社(KOTRA)及び財大田区産業振興協会主催の「日韓部品産業セミナー」に西村専務理事、成田常務理事が出席。〔於、大田区産業プラザ〕</p>
6月1日(木)	<p>・第7回日韓両国財団連絡協議会開催。両国財団意見交換。</p> <p>出席者：〔日本側〕藤村理事長(委員長)、米倉副理事長、渡里副理事長、大庭副理事長、西村専務理事(以上委員)、成田常務理事(幹事)、須々木部長(事務局)。</p> <p>〔韓国側〕金相廈理事長(委員長)、金中、姜晋求、趙賜來、李春林、申徳鉉(以上委員)、許南整(幹事)、宋成基(事務局)。〔於、ホテルオ-クラ東京〕</p> <p>・第32回日韓・韓日経済人会議に西村専務理事、成田常務理事が団員として、須々木部長が随行員として出席。〔於、ホテルオ-クラ東京(2日まで)〕</p>
3日(土)	<p>「長期研究」事業研究生の文化研修旅行に横山部長、田職員が引率同行。〔於、日光(4日まで)〕</p>
5日(月)	<p>特許庁国際課中沢総括班長がジェットロ・ソウルセンターへ赴任挨拶のため来訪。(西村専務理事、成田常務理事が対応)</p>

月 日	事 項
6月6日(火)	「先進技術者研修」事業の研修生事前面接(第3回)のため横山部長が韓国へ出張。〔於、ソウル市他(14日まで)〕
8日(木)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第1社目後期及び最終報告会、東遠精密㈱)のため成田常務理事、山崎部長が出張。〔於、韓国咸安市(10日まで)〕山崎部長は引続き第2社目、富川市清湖精密㈱前期実施のため14日まで富川市へ出張。
15日(木)	<p>「平成12年度第1回理事会」、「第1回評議員会」、及び「第2回理事会」を開催。〔於、経団連会館〕</p> <p>○「第1回理事会」</p> <p>(1)平成11年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)を審議可決。</p> <p>(2)任期満了等に伴う評議員29名を選出。</p> <p>○「第1回評議員会」</p> <p>(1)任期満了等に伴う理事29名、監事2名を選任。</p> <p>(2)上記理事会議題の(1)</p> <p>○「第2回理事会」</p> <p>(1)理事長、副理事長7名、専務理事及び常務理事を互選。</p> <p>理事長には藤村正哉氏が留任、副理事長には渡里杉一郎、前田勝之助の2氏が留任し、秋山富一、瀬戸雄三、木村雄宗、亀井俊郎、鈴木政志の5氏が新任。また、西村和義専務理事及び成田洋助常務理事は留任。</p>
19日(月)	大韓商工会議所徐相善専務理事が来訪。(挨拶)(成田常務理事、横山部長が対応)
20日(火)	「経営管理セミナー」事業実施打合せのため㈱野村総合研究所(NRI) 椎野主席コンサルタント、永宮ソウル支店長が来訪。(西村専務理事、成田常務理事、山本部長が対応)
25日(日)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施のため山崎部長が出張。

月 日	事 項
6月27日(火)	<p>〔於、韓国城南市(株)commax(前期)及び富川市清湖精密(株)(後期)(7月1日まで)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西村専務理事が社日韓経済協会専務理事を兼務することによる在韓関係機関への挨拶廻り、日系企業代表者との意見交換及び「生産性向上モデル企業育成」事業最終報告会に出席のため韓国へ出張。 <p>〔於、ソウル市、富川市(7月1日まで)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国京畿道林昌烈知事一行4名(方飛錫経済投資管理室長、李仁浩経済協力官及び通訳)の歓迎交流会を実施。日本側より藤村理事長、大慈彌省三石川島播磨重工業(株)副社長、熊谷直博(財)日韓文化交流基金理事長、木村伸一三井物産(株)専務取締役、小島幹生(財)企業活力研究所理事長、篠原徹日本商工会議所常務理事、椎野謙次(株)野村総合研究所主席研究員、当財団事務局より成田常務理事が出席。韓国側同席者は在日本国大韓民国大使館李賢在商務官、李哲徽財経官、KOTRAより崔胤弘韓国貿易センタ-館長が出席。〔於、ホテルオ-クラ別館〕
28日(火)	九州通商産業局国際事業課長高橋恒彦氏及び同課事業推進係長小杉繁樹氏が業務打合せのため来訪。(成田常務理事が対応)
7月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸・韓国経済人交流会議」に出席のため西村専務理事、須々木部長が出張。〔於、富山市、富山第一ホテル(7日まで)〕 ・「先進技術者研修」事業の研修生受入れ企業15社を横山部長が事前訪問。(14日まで)
6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)北九州国際技術協力協会(KITA)清水副理事長が来訪。(成田常務理事、山本部長、山崎部長が対応) ・(株)日本エンジェルキャピタル(JACC)醍醐管理部長、関野コンサルティング本部課長が業務打合せのため来訪。(山崎部長、大本部員が対応)
9日(日)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施のため山崎部長が出張。〔於、韓国忠北清原郡載祐精密(株)前期及び城南市(株)commax 後期(15日まで)〕

月 日	事 項
7月12日(水)	「産業技術交流促進ミッション受入れ」事業事前調査及び関係機関との打合せのため山本部長が北陸地方(受入場所)に出張。〔於、新潟、福井他(14日まで)〕
13日(木)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第3社目(株)commax 最終報告会)及び在ソウル日系企業によるソウルジャパンプラブ(SJC)の第6回経営研究会(当財団の調査広報事業)に出席のため成田常務理事が出張。〔於、ソウル市及び城南市(15日まで)〕
18日(火)	「長期研究」事業の研修生受入先及び「先進技術者研修」事業の研修生受入企業訪問のため横山部長が出張。〔於、(大阪市)国立循環器病センター、九州工業技術研究所、(戸畑)(株)セイシン企業、(20日まで)〕
19日(水)	「産業技術交流ミッション受入れ」事業の受入れ事業全体会議に西村専務理事、成田常務理事、山本部長、須々木部長が出席。関東、中部、近畿の各通産局及び北陸3県(新潟、富山、石川各県)より関係者出席。〔於、産経会館〕財団主催)
21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「先進技術者研修」事業の研修生受入企業(東京エレクトロン(株))を横山部長が訪問。 ・「経営管理セミナー」事業講師依頼のため成田常務理事、野村総合研究所(NRI) 椎野主席コンサルタントが(株)ドリム社及び東京エレクトロン(株)(府中)を訪問。
24日(月)	外務省文化交流部主催「中国・韓国元日本留学者の集い」に西村専務理事、須々木部長、田職員が出席。〔於、ホテルニューオタニ〕
25日(火)	横山部長が「先進技術者研修」事業の研修生受入企業(札幌市(株)アドス)を訪問。(26日まで)
27日(木)	日韓経済協会主催「第16回日韓青少年交流大学生訪日団31名」の歓迎レセプションに西村専務理事、成田常務理事、須々木部長、田職員が出席。〔於、東京フォーラム〕

月 日	事 項
7月31日(月)	「日韓協力フォーラム(中曽根元首相、金鐘泌大韓民国元国務総理・韓日議員連盟会長他出席)」に西村専務理事が出席。〔於、軽井沢〕(8月1日まで)
8月3日(水)	「生産性向上モデル企業育成」事業第5社目(株巨養)事前専門家会議。〔於、財団会議室、金子四郎、梅原敏靖両専門家、尾崎洪弼事務局、財団より山崎部長出席〕
4日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・在日大韓民国大使館金成元商務官補が離日のため、又權奎燮商務官が着任の挨拶のため来訪。(西村専務理事他が対応) ・社日韓経済協会副会長(財団副理事長)の打合せ昼食会に西村専務理事が出席。 <p style="margin-left: 40px;">出席者：藤村正哉会長(理事長)</p> <p style="margin-left: 80px;">秋山富一副会長(副理事長)</p> <p style="margin-left: 80px;">瀬戸雄三 " (")</p> <p style="margin-left: 80px;">亀井俊郎 " (")</p> <p style="margin-left: 80px;">村上弘芳 協会前専務理事</p> <p style="margin-left: 80px;">西村和義 協会・財団専務理事</p> <p style="margin-left: 80px;">井野正義 協会・財団常務理事・事務局長</p> <p style="margin-left: 40px;">〔於、東京会館〕</p>
6日(日)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第5社目株巨養前期及び第4社目株JMP後期)のため山崎部長出張。〔於、韓国安山市・清州市(12日まで)〕
7日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国中小企業振興公団日本事務所朴秉駿所長が就任挨拶のため来訪。金利源課長随行。(西村専務理事、成田常務理事、須々木部長が対応) ・「先進技術者専門研修」事業の対象となる韓国研修生34名(韓日財団申徳鉉専務理事、許南整理事、金正鎬課長随行)が来日、研修開講式実施。西村専務理事、成田常務理事、横山部長が出席。〔於、浜松町チサ

月 日	事 項
8月8日(火)	ンホテル) 韓日財団申徳鉉専務理事、許南整理事、金正鎬課長との打合せ。財団より西村専務理事、成田常務理事、横山部長、須々木部長が出席〔於、財団会議室〕会議の一部に通産省北西アジア課松本市場専門官も参席。
9日(水)	西村専務理事、横山部長が韓日財団3名(前記)を大垣市の大垣製鋼(株)へ案内、工場見学の上、先進技術者研修生(3名)受入れについて上田勝弘社長他と面談。
10日(木)	・西村専務理事が業務打合せのため市川中部通産局長他を訪問。 ・成田常務理事が「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第4社目(株)JMP 最終報告会)出席のため出張。〔於、韓国忠北清原郡(12日まで)〕
15日(火)	財日中経済協会丸山専務理事、崎岡調査部長が業務打合せのため来訪。 (西村専務理事、成田常務理事が対応)
17日(木)	「生産性向上モデル企業育成」事業第6社目(東寶チェン工業(株))実施事前打合せ。伊豫部、片山両専門家、尾崎事務局、成田常務理事、山崎部長が出席。〔於、財団会議室〕
20日(日)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第6社目、東寶チェン工業(株))前期及び第5社目(株)巨養後期のため山崎部長が出張。〔於、韓国釜山市及び安山市(26日まで)〕
22日(火)	・第13回日本学生訪韓団(日韓経済協会主催事業)に西村専務理事が名誉団長として、田職員が事務局として訪韓に参加。〔於、釜山・慶州・ソウル他(29日まで)〕。西村専務理事は25日に安山市の(株)巨養にて「生産性向上モデル企業育成」事業の最終報告会に出席、26日帰国。 ・第2次韓日文化産業投資説明会(韓国外交通商部、文化観光部主催、NET Communication 2000 In Korea & Japan)が東京ビッグサイトにて2日まで開催され、オ・プニングセレモニに財団事務局より成田常務理事、

月 日	事 項
8月23日(水)	<p>須々木部長が出席。</p> <p>「品質管理・工業標準化研修」事業実施事前打合せ。研修主任講師：高須久氏（日本科学技術連盟）、委託先：(株)リ-エ-ネットワ-ク 大塚常務他1名、財団事務局より成田常務理事、山本部長が出席〔於、財団会議室〕</p>
28日(月)	<p>日韓工業新聞社ニュー-スセンタ-千野部長と「官民若手交流」事業に関する懇談。（西村専務理事、成田常務理事、須々木部長）</p>
30日(水)	<p>北陸韓国経済交流会議実行委員会に西村専務理事、山本部長が出席。 〔於、富山市〕</p>
31日(木)	<p>・中小企業技術革新大会〔於、ソウル市、COEX〕及び国際異業種交流シンポジウム〔於、ソウル市、インタコンチネンタルホテル〕に参加出席のため成田常務理事が出張。（9月2日まで）</p> <p>・「生産性向上モデル企業育成」事業専門家会議。（柴田力、辻秀志両専門家、関野雅史事務局、財団より山崎部長）。〔於、財団会議室〕</p>
9月3日(日)	<p>「生産性向上モデル企業育成」事業実施（第7社目、(株)二元機工前期及び第6社目、東寶チェーン工業(株)後期）のため山崎部長、須々木部長が出張。 〔於、韓国釜山市、（9日まで）〕</p>
7日(木)	<p>・「経営管理者研修」事業講師結団式に西村専務理事、横山部長が出席。 〔於、横浜市〕</p> <p>・「成田常務理事が「生産性向上モデル企業育成」事業実施（第6社目東寶チェーン工業(株)最終報告会）出席のため出張。〔於、韓国釜山市（9日まで）〕</p>
11日(月)	<p>・「日中企業管理シンポジウム」に西村専務理事が出席。〔於、日本大学（12日まで）〕</p> <p>・「日韓フェスティバル支援」事業打合せに成田常務理事、須々木部長が出席。〔於、日本貿易振興会（ジェトロ）、通産省北西アジア課湯田事務官、ジェトロ展示事務部大山課長、藤本課員、フランスベッド(株)小熊</p>

月 日	事 項
9月12日(火)	<p>取締役研修部長、矢野デザイナー - が出席]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産業技術交流促進ミッション」受入事業の受入地域、企業等の事前調査のため山本部長が出張。〔於、上越、北陸地方4県各都市(15日まで)〕 <p>'99年「長期研修」事業の研究者3名が研究終了の報告及び帰国挨拶のため来訪。終了証書授与。(成田常務理事、横山部長が出席)〔於、財団会議室〕</p>
18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営管理者研修」事業の第一班研修生10名が来日、開講式に西村専務理事、成田常務理事、横山部長が出席。〔於、トレンディ東大島〕 ・「生産性向上短期コンサルティング」事業。対象企業事前調査のため山崎部長が出張。〔於、韓国釜山市(20日まで)〕韓日財団より許南整理事及び金正鎬次長が同行。
19日(火)	<p>「KITA専門研修」事業の研修生40名が来日(北九州着)、開講式に西村専務理事、山本部長が出席〔於、小倉ホテル〕((財)北九州国際技術協力協会(KITA)に委託)</p>
22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国産業資源部長官一行との朝食会に西村専務理事が出席。(韓国側9名、日本側藤村理事長他副理事長等7名)〔於、ホテルニューオータニ〕 ・金大中大統領招宴(夕食会)に財団事務局より西村専務理事、成田常務理事が出席。〔於、ホテルニューオータニ〕
24日(日)	<p>「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第8社目(正宇電子(株)前期及び(株)二元機工後期)のため山崎部長が出張。〔於、韓国安養市及び釜山市(30日まで)〕</p>
25日(月)	<p>'99年「長期研修」事業の研究者5名が研究終了の報告及び帰国挨拶のため来訪。終了証書授与。(西村専務理事、横山部長が出席)〔於、財団会議室〕</p>
27日(水)	<p>「経営管理セミナー」実施のため西村専務理事、成田常務理事、山本部長</p>

月 日	事 項
9月28日(木)	<p>がソウルへ出張。(30日まで)</p> <p>・「経営管理セミナー」事業実施。〔於、ソウル市 COEX インターコンベンションホール〕(29日まで)参加者約150名。(株)野村総合研究所(NRI)に委託)今年度よりシンポジウム形式とし「IT時代の製造業成長戦略(副題:独自技術で世界へ飛躍)」のテーマのもとに日韓産業協力シンポジウムとして実施。</p> <p>講師:日本電気(株) 相談役 関本忠弘</p> <p>韓国科学技術院 教授 裴洵勲 (以上基調講演)</p> <p>東京エレクトロニクスグループ 常勤監査役 神村敏夫</p> <p>PILKOR 電子(株) 社長 趙鍾大</p> <p>TG CORP (株) 社長 鄭晶太</p> <p>(株)シナガワ 社長 品川隆幸</p> <p>(株)大韓空調 社長 奇乗泰</p> <p>(株)ドリム・アーツ 社長 山本孝昭</p> <p>韓国ソニエレクトロニクス(株) 代表理事 張炳錫 (以上事例発表)</p> <p>(株)野村総合研究所 首席研究員 椎野謙次</p> <p>成均館大学校 教授 鄭在水 (以上モデレーター)</p> <p>JETRO ソウル事務所 部長 中沢則夫</p> <p>韓国電子去来協会 副社長 金東訓</p> <p>(以上パネル - の他、上記事例発表者の中、神村、趙、鄭晶太、品川、奇、山本、張の諸氏はパネリストとして参席)</p> <p>来賓: 韓国産業資源部 李熙範次官補</p> <p>・日本貿易振興会アジア経済研究所主催の「日韓共同シンポジウム(21世紀の日韓経済関係緊密化に向けて)」に須々木部長が傍聴出席。(藤村正哉理事長が社日韓経済協会会長として挨拶及びパネリストとして参席)〔於、ホテルオクラ〕</p>

月 日	事 項
9月29日(金)	「経営管理者研修」事業の第一班研修生10名の研修終了式・報告会を実施。横山部長が出席。〔於、トレンディ東大島〕
10月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・大韓民国開天節パ - ティ - (駐韓大使主催)に西村専務理事、成田常務理事が出席。〔於、ホテルニュー - オ - タニ〕 ・横山部長が上記「先進技術者企業研修」事業の中間フォロー - アップ企業訪問のため韓日財団の金正鎬次長を伴い出張。〔3日、4日和田工業(株)(岩手県)、5日(株)ハウジング恒産、日本音楽出版社協会、ビジョンプランニング(東京)、6日、7日(株)セイシン企業戸畑工場(九州)〕
4日(木)	「日韓中堅経済人会議(11月5日、6日)」に西村専務理事が出席のため出張。〔於、ソウルシルラホテル(7日まで)〕
8日(日)	「官民若手交流事業(日本次世代オピニオンリ - ダ - 交流訪韓団)」結団式挙行。派遣団員22名(団長：成田常務理事、副団長：日刊工業新聞社千野部長、京都大学大学院大西教授、事務局：須々木部長、日韓経済協会色摩部長)、財団より西村専務理事、来賓として駐日本国大韓民国大使館李賢在商務官、駐日韓国企業連合会権寧旭副会長が出席。〔於、東京ド - ムホテル〕
9日(月)	上記訪韓団出発。(釜山・慶州・ソウルを経て18日帰国)
11日(木)	「生産性向上モデル企業育成」事業実施(第8社目(正宇電子(株))後期のため山崎部長が出張。(14日まで)13日の同社最終報告会に出席のため西村専務理事が出張。(14日以降、上記訪韓団に合流、18日帰国)
22日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生産性向上モデル企業育成・(工場診断)」事業実施のため山崎部長が出張。〔於、韓国安山市(株)韓水〕 ・「産業技術交流促進ミッション」第2班40名受入れのため山本部長が新潟へ出張。〔以後、富山・福井へ移動、(28日まで)〕(DKRへ委託)
23日(月)	「上記ミッション」受入れ・交流会、レセプションに出席。(西村専務理事、成田常務理事)〔於、ホテルオ - クラ新潟〕

月 日	事 項
10月25日(水)	第2回日韓・韓日産業貿易会議(日韓経済協会行事)結団式事前説明会に西村専務理事が主催者側として出席。〔於、経団連会館〕
26日(水)	「生産性向上モデル企業育成・(工場診断)」事業実施のため成田常務理事が出張。〔於、韓国安山市(株)韓水〕(28日まで)
27日(金)	<p>「先進技術者企業研修」の研修生報告会及び送別会を実施。〔於、チサンホテル浜松町〕</p> <p>出席者：研修生32名、受入企業代表15社18名、</p> <p>来賓2名(通産省北西アジア課松本奏一課長補佐、駐日韓国大使館李賢在商務官)</p> <p>主 催：日・韓両国財団西村専務理事、申徳鉉専務理事、横山部長、金正鎬次長。</p>
11月1日(水)	第8回(2000年度)日・韓両財団連絡協議会幹事会を開催。主として2001年度の新規事業及び共同事業、両国財団の運営について協議。〔於、東京ドームホテル〕
2日(木)	第3回日韓・韓日官民合同投資促進協議会に出席のため西村専務理事が出張。(4日まで)〔於、ソウル市 POSC 会館〕
5日(日)	「短期専門技術者派遣」事業実施のため山崎部長が出張。〔於、ソウル市、ATEC SYSTEM (株)〕(11日まで)
7日(火)	<p>・ '99年「長期研究」事業の研究者3名が研究終了の報告及び帰国挨拶のため来訪。終了証書授与。(西村専務理事、横山部長が出席)〔於、財団会議室〕</p> <p>・ 「官民若手交流」事業(第1回韓国次世代オピニオンリ - ダ - 交流訪日団)受入れ事前調査を開始。成田常務理事、須々木部長が受入先等へ訪問出張。〔於、都内、名古屋、京都、神戸地区(13日まで)〕</p>
10日(金)	財北九州国際技術協力協会(KITA)創立20周年記念式典に西村専務理事が出席。〔於、九州国際会議場〕

月 日	事 項
10月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・外務省大臣官房会計課経理システム室長安森健治課長補佐、大臣官房入山健之助調査官が業務打合せのため来訪。(西村専務理事、成田常務理事が対応) ・九州通商産業局国際部国際事業課小井手博之課長補佐、田口賀徳係長が業務打合せのため来訪。(西村専務理事、成田常務理事が対応)
11月15日(水)	<p>「第2回日韓・韓日産業貿易会議」(11月16・17日、於、ソウル韓国貿易協会大会議室)に出席のため西村専務理事が出張(18日まで)、成田常務理事は16日出発18日までソウル滞在、19日に釜山へ移動。(26日まで「生産性向上短期コンサルティング」事業実施)</p>
19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生産性向上短期コンサルティング」事業実施のため山崎部長が出張、専門家7名事務局2名同行。〔於、釜山市(26日まで)〕 ・「品質管理・工業標準化研修」事業の研修生20名が来日。山本部長が成田空港にて受入れの後、研修施設へ案内。
20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記研修開講式に西村専務理事、山本部長が出席。〔於、大磯プリンスホテル〕(同研修は12月8日まで、9日帰国) ・「経営管理者研修」事業の研修生第2班10名来日、研修開講式に西村専務理事、横山部長が出席。〔於、池袋センタ - シティホテル〕(同研修は12月1日まで、2日帰国)
21日(火)	<p>「第33回日韓・韓日経済人会議(日韓経済協会行事)」開催場所事前調査のため西村専務理事が韓国・光州市へ出張。(23日まで)</p>
22日(水)	<p>日本工業新聞社松岡記者(編集局経済部次長)が藤村理事長をインタビュー、須々木部長が同席。</p>
24日(金)	<p>「KITA 専門研修」〔(財)北九州国際技術協力協会(KITA)に委託〕閉講式・送別会に西村専務理事・山本部長が出席。〔於、北九州市小倉ホテル〕</p>
27日(月)	<p>「理工系大学院生ウィンタ - インスティテュ - ト」事業の事前説明会を実施(28日)のため山本部長、田職員が出張。〔於、韓国大田市〕(社)科学</p>

月 日	事 項
11月30日(木)	<p>技術国際交流センター - (JISTEC) に委託。</p> <p>「コリアス - パ - エキスポ 2000」行事開幕、テ - プカッティングのため藤村理事長が出席。西村専務理事、成田常務理事、須々木部長同席。〔於、東京ビックサイト西館〕</p>
12月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「官民若手交流事業」対象の "第1回韓国次世代オピニオンリ - ダ - 訪日団 23名" の受入れ開始。成田常務理事、須々木部長が成田空港に出迎え。(団長：申徳鉉韓日財団専務理事、副団長：李鎔九中央大学教授姜箕星国会産業資源委員会補佐官) 1日～10日に亘り東京、名古屋、京都、神戸各地区にて各種視察、交流を実施。(内容略) 10日関空より帰国。1日夜は藤村理事長主催レセプション。〔於、東京ド - ムホテル〕(上記受入れ実施に伴い西村専務理事が京都、神戸に、成田常務理事、須々木部長が全行程に同行のため出張) ・ 「品質管理・工業標準化研修」事業箱根研修に山本部長が同行。 ・ 「経営管理者研修」研修生第2班10名の研修終了送別会に西村専務理事、横山部長が出席。〔於、池袋センター - シティホテル〕(2日帰国)
3日(日)	<p>「工場診断」事業実施のため山崎部長が出張。〔韓国浦項市、東方金属(株)(9日まで)〕。</p>
15日(金)	<p>第33回日韓経済人会議政策委員会幹事会に西村専務理事、成田常務理事、須々木部長が出席。〔於、日韓経済協会会議室〕</p>
18日(月)	<p>「第7回韓日・日韓企業人経済講演会及び送年懇親会」に西村専務理事、成田常務理事、須々木部長が出席。〔於、経団連会館(駐日韓国企業連合会、経団連経済広報センター - 共催)〕</p>
19日(火)	<p>片山善博鳥取県知事と日韓交流について懇談。〔於、新霞ヶ関ビル(西村専務理事)〕</p>
28日(木)	<p>仕事納め</p>

月 日	事 項
平成13年	
1月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事始め ・ 2000年度「理工系大学院生(ウインタ-インスティテュ-ト)研究事業対象の大学院生44名が訪日。山本部長が空港出迎え及びつくば研修センタ-への案内。オリエンテ-ション等。
9日(火)	<p>上記「ウインタ-インスティテュ-ト」開講式に西村専務理事、成田常務理事、山本部長、田部員が出席。来賓として外務省北東アジア課西田事務官、駐日大韓民国大使館李賢在商務官、韓国中小企業振興公団日本事務所朴秉駿所長が出席。(韓国側より韓国科学財団学術交流部関太善農学博士及び韓日産業・技術協力財団金 課長が協力機関として同行)〔於、つくば研修センタ-((社)科学技術国際交流センタ-(JISTEC)に委託)〕</p>
10日(水)	<p>(財)社会経済生産性本部新年互礼会に西村専務理事が出席。〔於、赤坂プリンスホテル〕</p>
11日(木)	<p>「ウインタ-インスティテュ-ト」事業に係わる「日韓学生市民交流会」への出席及びつくば市内関係機関訪問のため山本部長がつくば市へ出張。(12日は東京文化研修以後15日のホスト機関への引渡しまで同行)</p>
14日(日)	<p>「短期専門技術者派遣」事業実施のため山崎部長が出張。伊豫部将三、柴田力両専門家、及び事務局として(株)日本エンジェルキャピタル金澤健次課長が同行。〔於、韓国安山市、韓宝工業(株)(20日まで)〕</p>
16日(火)	<p>(株)北九州テクノセンタ-藤本専務、経済産業省九州経済産業局国際部田口係長が業務打合せのため来訪。(西村専務理事、成田常務理事が対応)</p>
17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「短期専門技術者派遣」事業終了立合いのため西村専務理事が出張。〔於、韓国安山市、韓宝工業(株)(20日まで)〕 ・ 須々木部長が北陸・韓国経済会議に出席。〔於、金沢市(18日まで)〕
24日(水)	<p>駐日本国大韓民国大使館李賢在商務官の離日送別会に財団より西村専務理事、成田常務理事が出席。</p>

月 日	事 項
1月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新大久保駅人身事故の韓国人犠牲者李秀賢氏の葬儀・告別式に藤村理事長、西村専務理事が出席。〔於、都内赤門会〕 ・JETROアジア経済研究所主催のセミナーに西村専務理事、成田常務理事が聴講出席。〔於、パシフィコ横浜〕
2月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国、三永インキ(株)金会長が来訪。(西村専務理事が対応) ・(社)国際交流サービス協会武田理事、威能次長が挨拶、打合せのため来訪。(西村専務理事、成田常務理事対応)
4日(日)	<p>短期専門家派遣事業3社目(J-MICRON(株))実施のため山崎部長が出張。 〔於、韓国安山市(9日まで)、その後短期コンサルティング残り3社への訪問説明のため釜山市へ移動。(10日～12日まで)〕</p>
5日(月)	<p>第19回日韓・韓日中堅・中小企業委員会国内会議に西村専務理事、成田常務理事が出席。〔於、協会会議室〕</p>
6日(火)	<p>協会・財団関係行事事前打合せ、調査のため西村専務理事が広島市へ出張。(7日まで)</p>
8日(木)	<p>「短期専門家派遣」事業3社目(J-MICRON(株))実施立会い及び「短期コンサルティング」事業残り3社への挨拶説明のため成田常務理事が出張。〔於、韓国安山市(9日まで)、釜山市(10日～12日まで)山崎部長と合流〕</p>
13日(火)	<p>成田常務理事が経済産業省通商政策局仁坂吉伸審議官、北東アジア室松本課長補佐を(株)ビジョンプランニング毛利社長に紹介、毛利社長より「韓国のITの現状」をヒヤリング。〔於、南青山の同社〕</p>
14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第19回日韓・韓日中堅・中小企業委員会合同会議(日韓経済協会関係行事)に西村専務理事、成田常務理事が委員として出席。夕刻のレセプションには藤村理事長も出席。〔於、東京フォーラム〕 ・藤村理事長、西村専務理事が衆議院議員竹本直一氏(経済産業大臣政務官)と面談。
15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・「日韓フェスティバル」開会行事に参列のため藤村理事長、西村専務理事、須

月 日	事 項
2月20日(火)	<p>々木部長、大本主任が出張。〔於、ソウル市韓国総合貿易展示場(COEX)〕</p> <p>・韓国、金井工業(株)社長以下60名の社員研修に立会い案内等のため成田常務理事が出張。〔於、京都(セミナ-開催)、大阪(松下電器)、奈良(大和ハウス)等、講演、見学の設営(17日まで)〕</p> <p>2000年度「九州韓国経済交流ミッション(ソウルに派遣)」に山崎部長が参加。〔於、ソウル(24日まで)〕</p>
22日(木)	<p>「日韓F T Aビジネスフォーラム」関係業務打合せ。</p> <p>出席者：外務省北東アジア課竹若敬三企画官、西田裕一事務官、 経済産業省北東アジア室小林健一市場専門官補佐、 財団西村専務理事、成田常務理事、須々木部長、(株)野村総合研究所高田伸朗上席コンサルタント。〔於、財団会議室〕</p>
23日(金)	<p>・「日韓・韓日経済人会議」政策委員会に西村専務理事が出席。〔於、経団連会館〕</p> <p>・「理工系大学院生(ウインター-インスティテュート)」研究事業終了、修了式・送別会に西村専務理事、須々木部長、田職員が出席。〔於、つくば市ホテルグランド東雲〕((社)科学技術国際交流センター(JISTEC)に委託)</p> <p>・「日韓フェスティバル」開催状況視察及び韓日財団との業務打合せのため成田常務理事が出張。〔於、ソウルCOEX(26日まで)〕</p>
27日(火)	<p>藤村理事長が新聞記者と懇談。</p> <p>日刊工業新聞社 千野俊猛ニュー-スセンター-所長 日本工業新聞社 渡部 行編集協力スタッフ 同上 松岡健夫編集経済部次長</p> <p>事務局より西村専務理事、成田常務理事が同席。</p>
28日(水)	<p>政府(外務省・経済省)による立入り監査。(終日)</p> <p>外務省より：北東アジア課 竹若敬三企画官 稲尾慎吾事務官 佐々木康事務官 西田裕一事務官</p>

月 日	事 項
3月1日(木)	<p>経済省より：アジア大洋州課 小澤悦夫課長補佐 松本奏一課長補佐 湯田 渉係長</p> <p>経済産業省関東経済産業局産業企画部国際課より渡辺裕芳課長佐、村山定男国際交流調整官、佐々木智絵国際化推進係長が業務打合せのため来訪。 (西村専務理事、成田常務理事、須々木部長が対応)</p>
5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐日本国大韓民国大使館許・商務官が新任挨拶のため来訪。(西村専務理事、成田常務理事が対応) ・ 経済産業省中部経済産業局産業企画部林祐一国際課長、佐々木昌子氏(戦略的プロジェクト推進準備室)が挨拶のため来訪。(西村専務理事、成田常務理事他財団一同対応) ・ 日韓FTAビジネスフォーラム事務打合せに西村専務理事、成田常務理事、須々木部長が出席。政府(外務省、経済産業省)、社経済団体連合会、日本商工会議所、日韓経済協会、(株)野村総合研究所より各々担当者出席。〔於、協会会議室〕
7日(水)	<p>亀井俊郎副理事長(川崎重工業(株)会長)を訪問。(西村専務理事、成田常務理事)</p>
9日(金)	<p>成田常務理事が日本機械輸出組合小川修司専務理事、関喜勝理事、谷口正樹グル・プリ・ダ(国際部門)を訪問(業務打合せ)。経済産業省より北東アジア室津上室長、湯田事務官同行。</p>
13日(火)	<p>「官民若手交流」事業で来日中の韓国民主党若手国会議員6名に対する財団主催の懇談会に西村専務理事、成田常務理事が出席。当日の来賓として外務省北東アジア課上原事務官、(社)経済団体連合会藤原常務理事、国際協力本部太田氏が出席。〔於、東京ド・ムホテル〕</p>
14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西村専務理事、成田常務理事が(社)日本自動車部品工業会柴崎和典副会長・専務理事、久谷幸雄国際部部長を訪問。(業務打合せ) ・ 西村専務理事、成田常務理事がウシオ電機(株)牛尾治朗会長と面談、外務

月 日	事 項
3月15日(木)	<p>省アジア大洋州局渥美千尋参事官他2名同席。〔於、内閣府〕</p> <p>日韓FTAビジネスフォーラム事務打合せに西村専務理事、成田常務理事、須々木部長が出席。政府(外務省、経済産業省)、(社)経済団体連合会、日本商工会議所、日韓経済協会、(株)野村総合研究所より各々担当者出席。〔於、協会会議室〕</p>
27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)第一勧銀総合研究所矢田常務、高祖部長、宗副主任研究員が業務打合せのため来訪。(西村専務理事、山本部長が対応) ・横山部長が北九州市(株)武田電子工業訪問のため出張。(28日まで)
28日(水)	<p>(株)野村総合研究所ソウル支店永宮支店長が業務打合せのため来訪。(西村専務理事、横山部長、須々木部長が対応)</p>
29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・板垣公認会計士が打合せのため来訪。(西村専務理事、横山部長、大本主任が対応) ・九州経済産業局の高橋課長、田口係長が業務打合せのため来訪。(西村専務理事、須々木部長が対応) ・(財)北九州国際技術協力協会(KITA)木下技術協力部副部長、中島調整係長が事業報告書内容打合せのため来訪。(西村専務理事、山崎部長が対応)
30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業技術交流促進ミッション」受入事業全体会議。経済産業省関東経済産業局、神奈川、千葉、埼玉各県及び横浜市より担当関係者出席。財団より西村専務理事、山本部長、須々木部長が出席。〔於、協会会議室〕 ・東芝インタナショナルサービス株式会社(TOIS)山本社長、里見部長が来訪。(西村専務理事、山崎部長が対応)
	<p>以 上</p>